

自由選択科目

科目名	選択教養 A～G			担当教員	
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・前期または後期	科目コード	B53060～B53066
概要	〔キーワード： 〕 この科目は、弘前大学との単位互換制度科目で読替えます。				
到達目標					
授業の内容	1. 10. 2. 11. 3. 12. 4. 13. 5. 14. 6. 15. 7. 8. 9.				
評価方法					
教材・教科書					
留意点					

自由選択科目

科目名	日本語学特講			担当教員	野沢勝夫
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B53041
概要	〔キーワード 語彙 和語 漢語 外来語 新漢語(翻訳漢語) 語彙量 文体 〕 ① 言語が文化・思想を担う側面から「語彙」について多角的に考える。 ② 幕末・明治期の欧米文化摂取・受容に際しての「翻訳漢語」誕生の経緯をたどる。				
到達目標	① 言語と文化との関係について具体的に理解する。 ② 日本語のなかのに於ける漢字・漢語の役割を具体的に理解する。				
授業の内容	1. 語種(和語・漢語・外来語・混種語)の話 10. 幕末・明治期の「翻訳漢語」(1) 2. 古典作品の中の和語と漢語(1) 11. 幕末・明治期の「翻訳漢語」(2) 3. 古典作品の中の和語と漢語(2) 12. 幕末・明治期の「翻訳漢語」(3) 4. 現代文の中の和語と漢語(1) 13. 幕末・明治期の「翻訳漢語」(4) 5. 現代文の中の和語と漢語(2) 14. 幕末・明治期の「翻訳漢語」(5) 6. 現代文の中の和語と漢語(3) 15. まとめ 7. 現代作家の作品の中の漢語(1) 8. 現代作家の作品の中の漢語(2) 9. 現代作家の作品の中の漢語(3)				
評価方法	①出席状況(授業時の「作業ペーパー」随時提出) 50% ②試験(授業で使用した資料持ちこみ可)の結果 50%				
教材・教科書	①コピー(特定の「教科書」は使用しない) ②演習用プリント を併用する(随時、要提出)				
留意点	学部学生の学生の場合、積極的に授業に参加すると「卒論・卒レポ」のテーマが見つかる(こともあります)				

自由選択科目

科目名	日本文法特講		担当教員	野沢勝夫
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード B53042
概要	〔キーワード:文学と学説 橋本文法(学校文法) 時枝文法 新文法〕 ①各トピックごとに資料(コピー・プリント等)を用意し、講義と演習を並行して行う			
到達目標	①代表的な日本語文法の学説(橋本文法・時枝文法)について理解する ②日本語の新たな文法研究の動きについて理解する			
授業の内容	1. 日本語文法の諸学説について(1) 2. 日本語文法の諸学説について(2) 3. 「橋本文法(学校文法)」について(1) 4. 「橋本文法(学校文法)」について(2) 5. 「橋本文法(学校文法)」 演習(1) 6. 「橋本文法(学校文法)」 演習(2) 7. 「橋本文法(学校文法)」 演習(3) 8. 「時枝文法」について(1) 9. 「時枝文法」について(2) 10. 新文法の諸説について 11. 「象は鼻が長い」の文法(1) 12. 「象は鼻が長い」の文法(2) 13. 「僕はウナギだ」の文法(1) 14. 「僕はウナギだ」の文法(2) 15. まとめ			
評価方法	①出席状況(授業時の作業ペーパー提出) ②試験の結果			
教材・教科書	①コピー(特定の「教科書」は使用しない) ②プリントを併用(随時、要提出)			
留意点	出席して積極的に授業に参加すること			

自由選択科目

科目名	古代文学特講		担当教員	畠山篤
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード B53043
概要	〔キーワード:文学と音楽〕 古代の音楽・芸能(とくに琴・弓)と文学の関係を探る。			
到達目標	1 作品群を体系立てて正確に解釈できる。 2 自分なりの創見を加えられ文章化できる。			
授業の内容	1. 神霊を統御する琴 2. 自然を統御する琴 3. 琴による統治 4. 君子の左琴 5. 歌垣の琴 6. 宴での琴 7. 葬送の琴 8. 祭政一致の呪具 9. 琴の音楽・文学 10. 宇津保物語と琴 11. 大山守の葬儀と弓(1) 12. 大山守の葬儀と弓(2) 13. 軽皇子と衣通媛の心中と弓(1) 14. 軽皇子と衣通媛の心中と弓(2) 15. まとめ			
評価方法	出席(30点)、毎回の授業評価・レポート(35点×2)			
教材・教科書	『河内王朝の山海の政』 畠山篤 白土社			
留意点	レポートは一定のレベルに達するまで添削と再提出を反復する。			

自由選択科目

科目名	中世文学特講		担当教員	丸山正道																		
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード B53044																		
概要	〔キーワード：中世、和歌、百首歌〕 藤原定家は、中世の歌人であり、歌論家であり、平安朝の文学作品を数多く書写していった人として、名をなしている人である。																					
到達目標	定家の『二見浦百首』は、西行の勸進により、創作した文学作品である。その作品を、和本・影印(プリント配布)で読めるようになること。読解・鑑賞し、定家の文学を、考究する。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 受講受理等。</td> <td>10. 「花のちる」歌等の発表と質疑応答</td> </tr> <tr> <td>2. 「道たゆる」歌等の発表と質疑応答</td> <td>11. 「を山田の」歌等の発表と質疑応答</td> </tr> <tr> <td>3. 「はるきぬと」歌等の発表と質疑応答</td> <td>12. 定家と中世和歌1</td> </tr> <tr> <td>4. 「枯はてし」歌等の発表と質疑応答</td> <td>13. 定家と中世和歌2</td> </tr> <tr> <td>5. 「梅花」歌等の発表と質疑応答</td> <td>14. レポート提出等。</td> </tr> <tr> <td>6. 「をちこちの」歌等の発表と質疑応答</td> <td>15. 反省点、その他。</td> </tr> <tr> <td>7. 「いまもこれ」歌等の発表と質疑応答</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 「おしましよ」歌等の発表と質疑応答</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 「いつこにて」歌等の発表と質疑応答</td> <td></td> </tr> </table>				1. 受講受理等。	10. 「花のちる」歌等の発表と質疑応答	2. 「道たゆる」歌等の発表と質疑応答	11. 「を山田の」歌等の発表と質疑応答	3. 「はるきぬと」歌等の発表と質疑応答	12. 定家と中世和歌1	4. 「枯はてし」歌等の発表と質疑応答	13. 定家と中世和歌2	5. 「梅花」歌等の発表と質疑応答	14. レポート提出等。	6. 「をちこちの」歌等の発表と質疑応答	15. 反省点、その他。	7. 「いまもこれ」歌等の発表と質疑応答		8. 「おしましよ」歌等の発表と質疑応答		9. 「いつこにて」歌等の発表と質疑応答	
1. 受講受理等。	10. 「花のちる」歌等の発表と質疑応答																					
2. 「道たゆる」歌等の発表と質疑応答	11. 「を山田の」歌等の発表と質疑応答																					
3. 「はるきぬと」歌等の発表と質疑応答	12. 定家と中世和歌1																					
4. 「枯はてし」歌等の発表と質疑応答	13. 定家と中世和歌2																					
5. 「梅花」歌等の発表と質疑応答	14. レポート提出等。																					
6. 「をちこちの」歌等の発表と質疑応答	15. 反省点、その他。																					
7. 「いまもこれ」歌等の発表と質疑応答																						
8. 「おしましよ」歌等の発表と質疑応答																						
9. 「いつこにて」歌等の発表と質疑応答																						
評価方法	一人1回以上発表すること。出席点20、研究発表・レポート・試験の点80。計100点。																					
教材・教科書	1)『二見浦百首』の和本・影印をプリント配布。 2)『字典かな』(新装版)一写本をよむ楽しみー、笠間書院、780円																					
留意点	演習形式																					

自由選択科目

科目名	近世文学特講		担当教員	三浦一朗																
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード B53045																
概要	〔キーワード：近世文学、歌舞伎、脚本、『仮名手本忠臣蔵〕〕 歌舞伎を代表する演目の一つとして『仮名手本忠臣蔵』を取り上げる。まず、歌舞伎の元となった浄瑠璃の本文とも比較しつつ、歌舞伎の脚本を読解する。その上で舞台を鑑賞し、作品の特質と魅力を知る。また、実際に演じられた舞台に対して、元々の台本が持つ豊かな可能性についても考える。																			
到達目標	歌舞伎『仮名手本忠臣蔵』の特質と魅力について、脚本と、演じられた舞台の両面から理解を深める。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>9. 六段目「早野勘平住家の場」の脚本読解</td> </tr> <tr> <td>2. 大序の脚本読解</td> <td>10. 六段目の舞台鑑賞</td> </tr> <tr> <td>3. 大序の舞台鑑賞(DVD、以下同様)</td> <td>11. 七段目「祇園一力茶屋の場」の脚本読解</td> </tr> <tr> <td>4. 三段目「殿中松の廊下の場」の脚本読解</td> <td>12. 七段目の舞台鑑賞</td> </tr> <tr> <td>5. 三段目の舞台鑑賞</td> <td>13. 九段目「山科閑居の場」の脚本読解</td> </tr> <tr> <td>6. 四段目「判官切腹の場」の脚本読解</td> <td>14. 九段目の舞台鑑賞</td> </tr> <tr> <td>7. 四段目の舞台鑑賞</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 五段目「山崎街道二つ玉の場」の脚本読解と 舞台鑑賞</td> <td></td> </tr> </table>				1. ガイダンス	9. 六段目「早野勘平住家の場」の脚本読解	2. 大序の脚本読解	10. 六段目の舞台鑑賞	3. 大序の舞台鑑賞(DVD、以下同様)	11. 七段目「祇園一力茶屋の場」の脚本読解	4. 三段目「殿中松の廊下の場」の脚本読解	12. 七段目の舞台鑑賞	5. 三段目の舞台鑑賞	13. 九段目「山科閑居の場」の脚本読解	6. 四段目「判官切腹の場」の脚本読解	14. 九段目の舞台鑑賞	7. 四段目の舞台鑑賞	15. まとめ	8. 五段目「山崎街道二つ玉の場」の脚本読解と 舞台鑑賞	
1. ガイダンス	9. 六段目「早野勘平住家の場」の脚本読解																			
2. 大序の脚本読解	10. 六段目の舞台鑑賞																			
3. 大序の舞台鑑賞(DVD、以下同様)	11. 七段目「祇園一力茶屋の場」の脚本読解																			
4. 三段目「殿中松の廊下の場」の脚本読解	12. 七段目の舞台鑑賞																			
5. 三段目の舞台鑑賞	13. 九段目「山科閑居の場」の脚本読解																			
6. 四段目「判官切腹の場」の脚本読解	14. 九段目の舞台鑑賞																			
7. 四段目の舞台鑑賞	15. まとめ																			
8. 五段目「山崎街道二つ玉の場」の脚本読解と 舞台鑑賞																				
評価方法	①出席確認を兼ねた、授業に対するコメントペーパー30%、②発表内容20%、③試験50%の割合で総合的に評価する。なお、6回以上欠席した学生に単位は認定しない。遅刻は3回で欠席1回と数える。																			
教材・教科書	作品本文と参考資料をプリントにして配布する。																			
留意点	4回目以降の脚本読解では、受講者に発表をして貰う。初回に発表担当を決めるので、受講を希望する学生は必ず出席すること。																			

自由選択科目

科目名	近・現代文学特講			担当教員	顧偉良
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B53046
概要	〔キーワード： 〕 宮沢賢治の詩作及び三部作（銀河鉄道の夜、グスコーブドリの伝記、風の又三郎）について。				
到達目標	宮沢賢治の理解				
授業の内容	1. 宮沢賢治の詩作について 2. 宮沢賢治の詩作について 3. 宮沢賢治の詩作について 4. 宮沢賢治の詩作について 5. 銀河鉄道の夜について 6. 銀河鉄道の夜について 7. 銀河鉄道の夜について 8. 銀河鉄道の夜について 9. グスコーブドリの伝記について 10. グスコーブドリの伝記について 11. グスコーブドリの伝記について 12. グスコーブドリの伝記について 13. 風の又三郎について 14. 風の又三郎について 15. 風の又三郎について				
評価方法	出席率30点 レポート70点				
教材・教科書	新編『風の又三郎』、新潮文庫				
留意点					

自由選択科目

科目名	漢文学特講			担当教員	植木久行
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期集中	科目コード	B53047
概要	〔キーワード： 漢語・漢詩・訓読 〕 漢語の基礎知識と語法を学んだ後、日本における漢詩愛唱史で重要な役割を果たした、訓点つきの注釈書を読んで、漢詩に対する理解を深めます。				
到達目標	漢語の基礎知識と語法を習得し、漢詩文の多様な訓読に慣れて、平易な漢詩文を適切に訳せるようになること。				
授業の内容	1. 訓読の変遷、辞書の解説 2. 漢字とは何か 3. 漢字の字形の変遷 4. 漢字の多義性 5. 漢字の字音の解説 6. 漢字の音節と四声 7. 語法概説 8. 古文真宝前集諺解大成 9. 陶淵明の詩 10. 賈島の詩 11. 三体詩備考大成 12. 杜牧の詩 13. 唐詩訓解 14. 李白の詩 15. まとめ				
評価方法	出席点25点、試験（小テスト+期末テスト）75点				
教材・教科書	プリントを配付します。				
留意点	後半になりますと、少し予習が必要になります。				

自由選択科目

科目名	地域文学特講		担当教員	関井光男		
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期集中	科目コード B53048		
概要	<p>[キーワード： IT革命と東北の文化―声とことばをめぐって]</p> <p>IT革命(高度情報技術による社会変革)が進むにつれ、人とのコミュニケーション能力が子供の間で低下し、物事を理解する能力まで下降していることが判明し、欧米で社会問題になっている。そのためアメリカでは人との声の接触を命じる法案が可決されている。日本の社会も同じような状況下にある。この講座ではこのIT革命による社会の変化の歴史を学習し、テクノロジーを利用しつつテクノロジーを越える道を見出して行く。言葉を自由に操る能力、自由な発想と想像力を東北の文化を通して発見していく。</p>					
到達目標	IT革命の動向を理解した上でITの出来ないことを体得すること。					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1.IT革命と北の文化と思想 アナログとデジタル 情報技術の歴史 コンピューターと人間の脳の神経組織 声とことばの歴史伝統 2.東北の文化と日本海文明 世界交通の中の東北文化 物語の語りと小説 口承文芸と近代小説 農民と文芸の誕生 3.近代文学の歴史の原点へ 聞くことと書くことの歴史 声を喪失した日本の文学 声の復興とリテラシーをめぐって 4.読むことと想像すること ことばを自在に使うこと 5.演習と実験―声と書くこと1 井上ひさし『新釈遠野物語』 柳田国男と井上ひさし </td> <td style="vertical-align: top;"> 6.演習と実験―声と書くこと2 井上ひさし『吉里吉里人』 7.演習と実験―声と書くこと3 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』、メルヘンを想像する 8.演習と実験―声と書くこと4 太宰治『晩年』 9.演習と実験―声と書くこと5 寺山修司『誰か故郷を想はざる』故郷と世界の旅へ 10.演習と実験―声と書くこと6 宮沢賢治「イギリス海岸」をめぐって 空想を書くこと 11.声と言葉の実験―声を書くこと1 12.声と言葉の実験―声を書くこと2 13.白紙を埋める方法 お話を自由に想像する 14.自己のイノベーションを発見する 15.まとめ </td> </tr> </table>				1.IT革命と北の文化と思想 アナログとデジタル 情報技術の歴史 コンピューターと人間の脳の神経組織 声とことばの歴史伝統 2.東北の文化と日本海文明 世界交通の中の東北文化 物語の語りと小説 口承文芸と近代小説 農民と文芸の誕生 3.近代文学の歴史の原点へ 聞くことと書くことの歴史 声を喪失した日本の文学 声の復興とリテラシーをめぐって 4.読むことと想像すること ことばを自在に使うこと 5.演習と実験―声と書くこと1 井上ひさし『新釈遠野物語』 柳田国男と井上ひさし	6.演習と実験―声と書くこと2 井上ひさし『吉里吉里人』 7.演習と実験―声と書くこと3 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』、メルヘンを想像する 8.演習と実験―声と書くこと4 太宰治『晩年』 9.演習と実験―声と書くこと5 寺山修司『誰か故郷を想はざる』故郷と世界の旅へ 10.演習と実験―声と書くこと6 宮沢賢治「イギリス海岸」をめぐって 空想を書くこと 11.声と言葉の実験―声を書くこと1 12.声と言葉の実験―声を書くこと2 13.白紙を埋める方法 お話を自由に想像する 14.自己のイノベーションを発見する 15.まとめ
1.IT革命と北の文化と思想 アナログとデジタル 情報技術の歴史 コンピューターと人間の脳の神経組織 声とことばの歴史伝統 2.東北の文化と日本海文明 世界交通の中の東北文化 物語の語りと小説 口承文芸と近代小説 農民と文芸の誕生 3.近代文学の歴史の原点へ 聞くことと書くことの歴史 声を喪失した日本の文学 声の復興とリテラシーをめぐって 4.読むことと想像すること ことばを自在に使うこと 5.演習と実験―声と書くこと1 井上ひさし『新釈遠野物語』 柳田国男と井上ひさし	6.演習と実験―声と書くこと2 井上ひさし『吉里吉里人』 7.演習と実験―声と書くこと3 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』、メルヘンを想像する 8.演習と実験―声と書くこと4 太宰治『晩年』 9.演習と実験―声と書くこと5 寺山修司『誰か故郷を想はざる』故郷と世界の旅へ 10.演習と実験―声と書くこと6 宮沢賢治「イギリス海岸」をめぐって 空想を書くこと 11.声と言葉の実験―声を書くこと1 12.声と言葉の実験―声を書くこと2 13.白紙を埋める方法 お話を自由に想像する 14.自己のイノベーションを発見する 15.まとめ					
評価方法	平常点、レポート					
教材・教科書						
留意点	過去に学んで未来を見ること。					

自由選択科目

科目名	伝承文学特講		担当教員	常光徹		
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期集中	科目コード B53049		
概要	<p>[キーワード： 昔話・伝説・世間話・俗信]</p> <p>昔話、伝説、世間話のなかからテーマを選び、それぞれの民俗的な意味や機能などについて述べる。また、日常の身近な言い伝えである俗信を取り上げて、その民俗的な背景について論じる。</p>					
到達目標	昔話、伝説、世間話、俗信の概念を理解し、身近な伝承について関心を持つとともに、生活のなかにおける意味について考える力を身につける。					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1. 伝説と昔話 2. 異人殺し伝説 3. 昔話の構造 4. 昔話の残虐性 5. 世間話と現代 6. 学校の怪談 7. 俗信について 8. 親指と霊柩車 9. 同時に同じ現象 </td> <td style="vertical-align: top;"> 10. クシャミの俗信 11. 妖怪とは何か 12. 河童の民俗 13. カラス鳴きと死の予兆 14. にが手の俗信 15. まとめ </td> </tr> </table>				1. 伝説と昔話 2. 異人殺し伝説 3. 昔話の構造 4. 昔話の残虐性 5. 世間話と現代 6. 学校の怪談 7. 俗信について 8. 親指と霊柩車 9. 同時に同じ現象	10. クシャミの俗信 11. 妖怪とは何か 12. 河童の民俗 13. カラス鳴きと死の予兆 14. にが手の俗信 15. まとめ
1. 伝説と昔話 2. 異人殺し伝説 3. 昔話の構造 4. 昔話の残虐性 5. 世間話と現代 6. 学校の怪談 7. 俗信について 8. 親指と霊柩車 9. 同時に同じ現象	10. クシャミの俗信 11. 妖怪とは何か 12. 河童の民俗 13. カラス鳴きと死の予兆 14. にが手の俗信 15. まとめ					
評価方法	出席とレポートで評価する。(出席点60点、レポート40点)					
教材・教科書	資料はそのつど配布する。 参考文献 常光徹『しぐさの民俗学―呪術的世界と心性―』ミネルヴァ書房、2006年、定価2800円					
留意点						

自由選択科目

科目名	民俗学特講			担当教員	畠山 篤																		
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B53050																		
概要	[キーワード:葬送] 誕生と対になる葬送の民俗を追求する。																						
到達目標	葬送の形態と意味を知る。																						
授業の内容	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">1. 死とは</td> <td style="width:50%;">10. 南島の葬送(2)</td> </tr> <tr> <td>2. 死の前兆</td> <td>11. 天若日子の葬り伝承</td> </tr> <tr> <td>3. 通夜</td> <td>12. 軽皇子の葬り伝承</td> </tr> <tr> <td>4. 墓制・両墓制</td> <td>13. 大山守の葬り伝承</td> </tr> <tr> <td>5. 間引き</td> <td>14. 来世観</td> </tr> <tr> <td>6. 幼児葬法</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 妊婦の葬法と昔話</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 口寄せ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 南島の葬送(1)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 死とは	10. 南島の葬送(2)	2. 死の前兆	11. 天若日子の葬り伝承	3. 通夜	12. 軽皇子の葬り伝承	4. 墓制・両墓制	13. 大山守の葬り伝承	5. 間引き	14. 来世観	6. 幼児葬法	15. まとめ	7. 妊婦の葬法と昔話		8. 口寄せ		9. 南島の葬送(1)	
1. 死とは	10. 南島の葬送(2)																						
2. 死の前兆	11. 天若日子の葬り伝承																						
3. 通夜	12. 軽皇子の葬り伝承																						
4. 墓制・両墓制	13. 大山守の葬り伝承																						
5. 間引き	14. 来世観																						
6. 幼児葬法	15. まとめ																						
7. 妊婦の葬法と昔話																							
8. 口寄せ																							
9. 南島の葬送(1)																							
評価方法	出席(30点)・毎回の授業評価・レポート(35点×2)																						
教材・教科書	毎回資料を提供する。																						
留意点	レポートは一定のレベルに達するまで添削と再提出を反復する。																						

自由選択科目

科目名	民俗学特講			担当教員	笹森 健英																		
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B53051																		
概要	[キーワード:] 民俗。芸能(演劇、舞踊、音楽)。音楽学。民族音楽学。芸能の機能																						
到達目標	民俗(folkway)、芸能(performing art)の実質・機能を把握する。芸能の構造を概念(ことば)身体表現(舞踊・演劇)、音(音楽)の要素から分析、記述する。民俗芸能の歴史、社会的機能を人間の行動様式として捉え、如何にあるべきかの展望を示す。 受講者が自ら選択した芸能を調査・研究し視覚・聴覚的現象として捉えレポートにまとめる。																						
授業の内容	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">1. 民俗・芸能の概念研究主題の設定(1)</td> <td style="width:50%;">10. 補足(1)</td> </tr> <tr> <td>2. 民俗・芸能の概念研究主題の設定(2)</td> <td>11. 補足(2)</td> </tr> <tr> <td>3. テーマに即した資料収集。討議</td> <td>12. 補足(3)</td> </tr> <tr> <td>4. 音楽・舞踊の研究に関する方法論(1)</td> <td>13. レポート全体の点検(1)</td> </tr> <tr> <td>5. 音楽・舞踊の研究に関する方法論(2)</td> <td>14. レポート全体の点検(2)</td> </tr> <tr> <td>6. テーマに即した身体表現・音の記述(1)</td> <td>15. レポート提出、まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. テーマに即した身体表現・音の記述(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. レポートの内容を検証</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. レポート中間発表</td> <td></td> </tr> </table>					1. 民俗・芸能の概念研究主題の設定(1)	10. 補足(1)	2. 民俗・芸能の概念研究主題の設定(2)	11. 補足(2)	3. テーマに即した資料収集。討議	12. 補足(3)	4. 音楽・舞踊の研究に関する方法論(1)	13. レポート全体の点検(1)	5. 音楽・舞踊の研究に関する方法論(2)	14. レポート全体の点検(2)	6. テーマに即した身体表現・音の記述(1)	15. レポート提出、まとめ	7. テーマに即した身体表現・音の記述(2)		8. レポートの内容を検証		9. レポート中間発表	
1. 民俗・芸能の概念研究主題の設定(1)	10. 補足(1)																						
2. 民俗・芸能の概念研究主題の設定(2)	11. 補足(2)																						
3. テーマに即した資料収集。討議	12. 補足(3)																						
4. 音楽・舞踊の研究に関する方法論(1)	13. レポート全体の点検(1)																						
5. 音楽・舞踊の研究に関する方法論(2)	14. レポート全体の点検(2)																						
6. テーマに即した身体表現・音の記述(1)	15. レポート提出、まとめ																						
7. テーマに即した身体表現・音の記述(2)																							
8. レポートの内容を検証																							
9. レポート中間発表																							
評価方法	出席点 15%、日常 15 点、レポート 60 点、試験 10 点。																						
教材・教科書	テーマに即して配付する。																						
留意点	自主的に研究し、1 週毎に成果を提出する。芸能を視覚・聴覚的現象として捉える。																						

自由選択科目

科目名	地域史特講			担当教員	黒瀧十二郎																		
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	B53052																		
概要	〔キーワード：〕 この講義は、弘前藩政史を概説して、歴史の流れを把握させた後に、弘前藩の藩士の生活について述べる。																						
到達目標	特に日本文学専攻の学生にとって、地域の歴史的背景を理解できればと思う。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 津軽氏の出自、為信の登場と津軽領支配</td> <td>10. 藩士の生活（住）</td> </tr> <tr> <td>2. 弘前城下の建設と交通、藩政の展開</td> <td>11. 藩士の生活（日常生活）</td> </tr> <tr> <td>3. 藩政改革と文化の高直り</td> <td>12. 藩士の生活（日常生活・江戸屋敷の生活）</td> </tr> <tr> <td>4. 藩政の動揺と幕末の政局</td> <td>13. 藩士の生活（江戸屋敷の生活）</td> </tr> <tr> <td>5. 藩士の生活(衣)</td> <td>14. 藩士の生活（江戸屋敷の生活）</td> </tr> <tr> <td>6. 藩士の生活(衣)</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 藩士の生活(衣・食)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 藩士の生活(食)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 藩士の生活(食・住)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 津軽氏の出自、為信の登場と津軽領支配	10. 藩士の生活（住）	2. 弘前城下の建設と交通、藩政の展開	11. 藩士の生活（日常生活）	3. 藩政改革と文化の高直り	12. 藩士の生活（日常生活・江戸屋敷の生活）	4. 藩政の動揺と幕末の政局	13. 藩士の生活（江戸屋敷の生活）	5. 藩士の生活(衣)	14. 藩士の生活（江戸屋敷の生活）	6. 藩士の生活(衣)	15. まとめ	7. 藩士の生活(衣・食)		8. 藩士の生活(食)		9. 藩士の生活(食・住)	
1. 津軽氏の出自、為信の登場と津軽領支配	10. 藩士の生活（住）																						
2. 弘前城下の建設と交通、藩政の展開	11. 藩士の生活（日常生活）																						
3. 藩政改革と文化の高直り	12. 藩士の生活（日常生活・江戸屋敷の生活）																						
4. 藩政の動揺と幕末の政局	13. 藩士の生活（江戸屋敷の生活）																						
5. 藩士の生活(衣)	14. 藩士の生活（江戸屋敷の生活）																						
6. 藩士の生活(衣)	15. まとめ																						
7. 藩士の生活(衣・食)																							
8. 藩士の生活(食)																							
9. 藩士の生活(食・住)																							
評価方法	出席点 20 点、レポート評価点 80 点																						
教材・教科書	教科書は使用しない。必要に応じてプリント配布。																						
留意点	遅刻・欠席をしないこと。																						

自由選択科目

科目名	地域メディア特講			担当教員	丸谷 馨																		
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期集中	科目コード	B53053																		
概要	〔キーワード：情報発信力〕 情報が氾濫するネット社会において、情報の精査、整理、編集する力と、地域の特色を理解し、完成度が高く、グローバルな視野をもった魅力ある情報を企画、発信する力を養う。また、多様化するメディアを理解し、出版、編集の基本を学び、メディアを担う人材の育成を図る。																						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・出版、編集に必要な総合知識を得てリテラシー能力を高める。 ・地域ならではの特色あるテーマを選択し、情報媒体を企画。編集会議、企画立案から取材、原稿の作成と編集の実践、成果をブログ、フェイスブック等に反映させる。 																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>10. 取材（インタビュー、資料収集、整理）</td> </tr> <tr> <td>2. 出版メディアの変遷</td> <td>11. ブログ、フェイスブック作成①（原稿作成）</td> </tr> <tr> <td>3. 地域メディアの特色と役割</td> <td>12. " ②（編集、校正）</td> </tr> <tr> <td>4. 津軽の出版文化と歴史</td> <td>13. " ③（見出し、レイアウト・デザ</td> </tr> <tr> <td>5. 媒体発行までの流れ</td> <td>イン）</td> </tr> <tr> <td>6. 編集会議シミュレーション①（ブレーンストーミング）</td> <td>14. 近未来のメディア</td> </tr> <tr> <td>7. 編集会議シミュレーション②（素材、テーマの選択、集約）</td> <td>15. 総括</td> </tr> <tr> <td>8. 企画立案・企画書作成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 取材準備（アプローチ）</td> <td></td> </tr> </table>					1. オリエンテーション	10. 取材（インタビュー、資料収集、整理）	2. 出版メディアの変遷	11. ブログ、フェイスブック作成①（原稿作成）	3. 地域メディアの特色と役割	12. " ②（編集、校正）	4. 津軽の出版文化と歴史	13. " ③（見出し、レイアウト・デザ	5. 媒体発行までの流れ	イン）	6. 編集会議シミュレーション①（ブレーンストーミング）	14. 近未来のメディア	7. 編集会議シミュレーション②（素材、テーマの選択、集約）	15. 総括	8. 企画立案・企画書作成		9. 取材準備（アプローチ）	
1. オリエンテーション	10. 取材（インタビュー、資料収集、整理）																						
2. 出版メディアの変遷	11. ブログ、フェイスブック作成①（原稿作成）																						
3. 地域メディアの特色と役割	12. " ②（編集、校正）																						
4. 津軽の出版文化と歴史	13. " ③（見出し、レイアウト・デザ																						
5. 媒体発行までの流れ	イン）																						
6. 編集会議シミュレーション①（ブレーンストーミング）	14. 近未来のメディア																						
7. 編集会議シミュレーション②（素材、テーマの選択、集約）	15. 総括																						
8. 企画立案・企画書作成																							
9. 取材準備（アプローチ）																							
評価方法	出席 40 点 ブログ、フェイスブックの完成度 30 点、試験 30 点																						
教材・教科書	『日本一の桜』（講談社・現代新書）丸谷馨著 ほか、講師の配布するプリント。																						
留意点	受講生の能力発掘と向上																						

自由選択科目

科目名	企業等実習			担当教員	
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・通年	科目コード	B53033
概要	[キーワード: インターンシップ(就業体験)・職業観の形成]				
	講義を聴講したうえで、各自の希望する企業において就業体験をする。実習前に事前レポートを作成する。実習後、実習日誌と事後レポートを提出し、報告会で発表する。				
到達目標	就業体験を通して企業や社会の動きを実感し、職業観を確立する。今後の進路選択、就職活動の判断材料とする。				
授業の内容	1. オリエンテーション 2. 自己理解を深める I 3. 自己理解を深める II 4. 企業研究 I 5. 企業研究 II 6. ビジネスマナー I 7. ビジネスマナー II 8. 企業実習(就業体験)ガイダンス 9. 企業実習事前報告会		10. 企業実習(就業体験)① 11. 企業実習(就業体験)② 12. 企業実習(就業体験)③ 13. 企業実習(就業体験)④ 14. 企業実習(就業体験)⑤ 15. 企業実習事後報告会		
評価方法	講義出席状況、企業からの評価、事前・事後レポート、報告会発表を総合的に判断				
教材・教科書	教科書は使用しない。プリント等を適宜配布。				
留意点	就業体験は、夏休み中に行う。				

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	佐藤幸正																														
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41500																														
概要	<p>[キーワード：論点発見、論点追及] 各自が掴んだ論点を追求し、これを論文形式で文章化し、各章ごとに提出することになる。この間、指導はグループ指導を、一定の割合でおこなう。</p>																																		
到達目標	各自が大学に提出した論題に基づき、研究・調査した成果を、所定の形式でまとめることになる。																																		
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 論題の選び方と書き方</td> <td>11. 先行論文研究</td> <td>21. 発表とグループ指導</td> </tr> <tr> <td>2. 資料収集の仕方。電子資料の評価の仕方</td> <td>12. 先行論文研究</td> <td>22. 発表とグループ指導</td> </tr> <tr> <td>3. ノートのとり方</td> <td>13. 先行論文研究</td> <td>23. 発表とグループ指導</td> </tr> <tr> <td>4. 草稿の作り方</td> <td>14. 先行論文研究</td> <td>24. 発表とグループ指導</td> </tr> <tr> <td>5. 盗用はなぜいけないのか</td> <td>15. 先行論文研究</td> <td>25. 発表とグループ指導</td> </tr> <tr> <td>6. 著作物のタイトルの付け方</td> <td>16. 発表とグループ指導</td> <td>26. 発表とグループ指導</td> </tr> <tr> <td>7. 引用文の仕方</td> <td>17. 発表とグループ指導</td> <td>27. 発表とグループ指導</td> </tr> <tr> <td>8. 章だてとタイトル</td> <td>18. 発表とグループ指導</td> <td>28. 発表とグループ指導</td> </tr> <tr> <td>9. 典拠の明記の仕方</td> <td>19. 発表とグループ指導</td> <td>29. 発表とグループ指導</td> </tr> <tr> <td>10. Works Cited の書き方</td> <td>20. 発表とグループ指導</td> <td>30. レポート提出</td> </tr> </table>					1. 論題の選び方と書き方	11. 先行論文研究	21. 発表とグループ指導	2. 資料収集の仕方。電子資料の評価の仕方	12. 先行論文研究	22. 発表とグループ指導	3. ノートのとり方	13. 先行論文研究	23. 発表とグループ指導	4. 草稿の作り方	14. 先行論文研究	24. 発表とグループ指導	5. 盗用はなぜいけないのか	15. 先行論文研究	25. 発表とグループ指導	6. 著作物のタイトルの付け方	16. 発表とグループ指導	26. 発表とグループ指導	7. 引用文の仕方	17. 発表とグループ指導	27. 発表とグループ指導	8. 章だてとタイトル	18. 発表とグループ指導	28. 発表とグループ指導	9. 典拠の明記の仕方	19. 発表とグループ指導	29. 発表とグループ指導	10. Works Cited の書き方	20. 発表とグループ指導	30. レポート提出
1. 論題の選び方と書き方	11. 先行論文研究	21. 発表とグループ指導																																	
2. 資料収集の仕方。電子資料の評価の仕方	12. 先行論文研究	22. 発表とグループ指導																																	
3. ノートのとり方	13. 先行論文研究	23. 発表とグループ指導																																	
4. 草稿の作り方	14. 先行論文研究	24. 発表とグループ指導																																	
5. 盗用はなぜいけないのか	15. 先行論文研究	25. 発表とグループ指導																																	
6. 著作物のタイトルの付け方	16. 発表とグループ指導	26. 発表とグループ指導																																	
7. 引用文の仕方	17. 発表とグループ指導	27. 発表とグループ指導																																	
8. 章だてとタイトル	18. 発表とグループ指導	28. 発表とグループ指導																																	
9. 典拠の明記の仕方	19. 発表とグループ指導	29. 発表とグループ指導																																	
10. Works Cited の書き方	20. 発表とグループ指導	30. レポート提出																																	
評価方法	発表（40%）、提出論文（60%）																																		
教材・教科書	樋口昌幸 訳編 『MLA 英語論文の手引』（北星堂）																																		
留意点	出席重視、発表者の無断欠席厳禁																																		

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	佐藤和博																														
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41501																														
概要	<p>[キーワード： アイディアを生み出す]</p>																																		
到達目標	アイディアのあるレポートを書く技術を身につける																																		
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 発表の技術</td> <td>11. 学生の発表（10回目）</td> <td>21. 学生の発表（20回目）</td> </tr> <tr> <td>2. 学生の発表（1回目）</td> <td>12. 学生の発表（11回目）</td> <td>22. 学生の発表（21回目）</td> </tr> <tr> <td>3. 学生の発表（2回目）</td> <td>13. 学生の発表（12回目）</td> <td>23. 学生の発表（22回目）</td> </tr> <tr> <td>4. 学生の発表（3回目）</td> <td>14. 学生の発表（13回目）</td> <td>24. 学生の発表（23回目）</td> </tr> <tr> <td>5. 学生の発表（4回目）</td> <td>15. 学生の発表（14回目）</td> <td>25. 学生の発表（24回目）</td> </tr> <tr> <td>6. 学生の発表（5回目）</td> <td>16. 学生の発表（15回目）</td> <td>26. 学生の発表（25回目）</td> </tr> <tr> <td>7. 学生の発表（6回目）</td> <td>17. 学生の発表（16回目）</td> <td>27. 学生の発表（26回目）</td> </tr> <tr> <td>8. 学生の発表（7回目）</td> <td>18. 学生の発表（17回目）</td> <td>28. 学生の発表（27回目）</td> </tr> <tr> <td>9. 学生の発表（8回目）</td> <td>19. 学生の発表（18回目）</td> <td>29. 学生の発表（28回目）</td> </tr> <tr> <td>10. 学生の発表（9回目）</td> <td>20. 学生の発表（19回目）</td> <td>30. 学生の発表（29回目）</td> </tr> </table>					1. 発表の技術	11. 学生の発表（10回目）	21. 学生の発表（20回目）	2. 学生の発表（1回目）	12. 学生の発表（11回目）	22. 学生の発表（21回目）	3. 学生の発表（2回目）	13. 学生の発表（12回目）	23. 学生の発表（22回目）	4. 学生の発表（3回目）	14. 学生の発表（13回目）	24. 学生の発表（23回目）	5. 学生の発表（4回目）	15. 学生の発表（14回目）	25. 学生の発表（24回目）	6. 学生の発表（5回目）	16. 学生の発表（15回目）	26. 学生の発表（25回目）	7. 学生の発表（6回目）	17. 学生の発表（16回目）	27. 学生の発表（26回目）	8. 学生の発表（7回目）	18. 学生の発表（17回目）	28. 学生の発表（27回目）	9. 学生の発表（8回目）	19. 学生の発表（18回目）	29. 学生の発表（28回目）	10. 学生の発表（9回目）	20. 学生の発表（19回目）	30. 学生の発表（29回目）
1. 発表の技術	11. 学生の発表（10回目）	21. 学生の発表（20回目）																																	
2. 学生の発表（1回目）	12. 学生の発表（11回目）	22. 学生の発表（21回目）																																	
3. 学生の発表（2回目）	13. 学生の発表（12回目）	23. 学生の発表（22回目）																																	
4. 学生の発表（3回目）	14. 学生の発表（13回目）	24. 学生の発表（23回目）																																	
5. 学生の発表（4回目）	15. 学生の発表（14回目）	25. 学生の発表（24回目）																																	
6. 学生の発表（5回目）	16. 学生の発表（15回目）	26. 学生の発表（25回目）																																	
7. 学生の発表（6回目）	17. 学生の発表（16回目）	27. 学生の発表（26回目）																																	
8. 学生の発表（7回目）	18. 学生の発表（17回目）	28. 学生の発表（27回目）																																	
9. 学生の発表（8回目）	19. 学生の発表（18回目）	29. 学生の発表（28回目）																																	
10. 学生の発表（9回目）	20. 学生の発表（19回目）	30. 学生の発表（29回目）																																	
評価方法	卒業レポート(70%)及び出席 (30%)																																		
教材・教科書																																			
留意点																																			

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	エドワート・フォーサイ
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41502
概要	[キーワード: Graduation Report Seminar] This graduation report seminar will provide students with the tools and steps needed to write their graduation theses. Students will be expected to gather the necessary materials, resources, data and any other relevant documentation needed to research and write an original and viable graduation report in accordance with university guidelines.				
到達目標	The 1st term focuses on getting students acclimated to researching and writing their graduation reports. Students will be asked to make presentations to the other seminar members of this class in the form of "progress reports," outlining their research and data. 2 nd term is presenting their research and peer review of other students' papers.				
授業の内容	1. Course Orientation 2. Review Sempai Reports 3. Topic Presentation 4. Using Internet Research 5. Thesis Statements 6. Brainstorming Topics 7. Writing an Outline 8. Students Present Outline 9. Making Bibliographies 10. Taking Notes	11. Discussion of Research 12. Topic Outlines 13. Students' Outlines 14. Citing Sources 15. Summer Break Plans 16. Review of Progress 17. Peer review feedback 18. Creating charts & tables 19. Peer review feedback 20. Complete 1st Draft Due	21. Peer review feedback 22. Students' progress rpts 23. Peer review feedback 24. Final draft revisions 25. Final draft revisions 26. Final draft revisions 27. Final draft revisions 28. Final draft revisions 29. Final draft revisions 30. Report Submission		
評価方法	Theses must be written in English based on original research. Students must have their thesis proofread by a native English speaker before turning them in. Final grades are based 10% on presentations/assignments/attendance and 90% on the thesis.				
教材・教科書	<i>Basic Steps to Writing Research Papers</i> , Kluge & Taylor (2007) [ISBN: 978-4-902902-89-1]				
留意点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible. Reports must be submitted in accordance with Hirosaki Gakuin University policies and procedures.				

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	渡邊教一
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41503
概要	[キーワード: 問題意識の掘り下げと謎解き] 問題提起の設定と資料収集				
到達目標	独自の問題提起の発見と考究を通じて適正な書式で成果をまとめる。				
授業の内容	1.論点発見と資料収集(1) 2.論点発見と資料収集(2) 3.論点発見と資料収集(3) 4.論点発見と資料収集(4) 5.論点発見と資料収集(5) 6.論点発見と資料収集(6) 7.論点発見と資料収集(7) 8.論点発見と資料収集(8) 9.論点発見と資料収集(9) 10.論点発見と資料収集(10)	11.論点発見と資料収集(11) 12.論点発見と資料収集(12) 13.論点発見と資料収集(13) 14.論点発見と資料収集(14) 15.論点発見と資料収集(15) 16.執筆指導(1) 17.執筆指導(2) 18.執筆指導(3) 19.執筆指導(4) 20.執筆指導(5)	21.執筆指導(6) 22.執筆指導(7) 23.執筆指導(8) 24.執筆指導(9) 25.執筆指導(10) 26.執筆指導(11) 27.執筆指導(12) 28.執筆指導(13) 29.概要指導 30.口頭試問		
評価方法	卒業論文の内容(90点)及び口頭試問(10点)				
教材・教科書	『MLA 英語論文の手引き』(北星堂) その他プリント配布				
留意点	早めに独自の構想をじっくり固めること。				

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	吉永直子																														
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41504																														
概要	<p>[キーワード:]</p> <p>授業では研究過程の各段階における成果の報告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先行研究を読み、それらを適切な方法でまとめる。 ・ 研究課題を明確にあらわす。 ・ 研究課題への答えを導き出すための具体的な方法を考える。 ・ 研究課題に対する答えを導き出す。 ・ 研究成果を適切な方法で書く。 																																		
到達目標	自分の研究テーマにそって研究したことを適切な方法で卒業レポートとしてまとめる。																																		
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>11. 個別指導 (6)</td> <td>21. 発表 4</td> </tr> <tr> <td>2. 論文について (1)</td> <td>12. 個別指導 (7)</td> <td>22. 個別指導 (14)</td> </tr> <tr> <td>3. 論文について (2)</td> <td>13. 個別指導 (8)</td> <td>23. 個別指導 (15)</td> </tr> <tr> <td>4. 研究計画</td> <td>14. 個別指導 (9)</td> <td>24. 個別指導 (16)</td> </tr> <tr> <td>5. 個別指導 (1)</td> <td>15. 発表 2</td> <td>25. 個別指導 (17)</td> </tr> <tr> <td>6. 個別指導 (2)</td> <td>16. 発表 3</td> <td>26. 個別指導 (18)</td> </tr> <tr> <td>7. 個別指導 (3)</td> <td>17. 個別指導 (10)</td> <td>27. 個別指導 (19)</td> </tr> <tr> <td>8. 個別指導 (4)</td> <td>18. 個別指導 (11)</td> <td>28. 個別指導 (20)</td> </tr> <tr> <td>9. 発表 1</td> <td>19. 個別指導 (12)</td> <td>29. 概要</td> </tr> <tr> <td>10. 個別指導 (5)</td> <td>20. 個別指導 (13)</td> <td>30. 発表 5</td> </tr> </table>					1. オリエンテーション	11. 個別指導 (6)	21. 発表 4	2. 論文について (1)	12. 個別指導 (7)	22. 個別指導 (14)	3. 論文について (2)	13. 個別指導 (8)	23. 個別指導 (15)	4. 研究計画	14. 個別指導 (9)	24. 個別指導 (16)	5. 個別指導 (1)	15. 発表 2	25. 個別指導 (17)	6. 個別指導 (2)	16. 発表 3	26. 個別指導 (18)	7. 個別指導 (3)	17. 個別指導 (10)	27. 個別指導 (19)	8. 個別指導 (4)	18. 個別指導 (11)	28. 個別指導 (20)	9. 発表 1	19. 個別指導 (12)	29. 概要	10. 個別指導 (5)	20. 個別指導 (13)	30. 発表 5
1. オリエンテーション	11. 個別指導 (6)	21. 発表 4																																	
2. 論文について (1)	12. 個別指導 (7)	22. 個別指導 (14)																																	
3. 論文について (2)	13. 個別指導 (8)	23. 個別指導 (15)																																	
4. 研究計画	14. 個別指導 (9)	24. 個別指導 (16)																																	
5. 個別指導 (1)	15. 発表 2	25. 個別指導 (17)																																	
6. 個別指導 (2)	16. 発表 3	26. 個別指導 (18)																																	
7. 個別指導 (3)	17. 個別指導 (10)	27. 個別指導 (19)																																	
8. 個別指導 (4)	18. 個別指導 (11)	28. 個別指導 (20)																																	
9. 発表 1	19. 個別指導 (12)	29. 概要																																	
10. 個別指導 (5)	20. 個別指導 (13)	30. 発表 5																																	
評価方法	卒業レポート 80%、発表 20%																																		
教材・教科書																																			
留意点																																			

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	楊 尚眞																														
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41505																														
概要	<p>[キーワード: アイデア、文章力、論理性]</p> <p>卒業レポートの作成において、重要な事柄である研究テーマの設定、資料収集、アイデア、文章構成、展開、結論に至るまでの方法を学ぶ。</p>																																		
到達目標	既存の様々な資料をレポートにまとめ上げることが目的ではなく、自分独自の創造的なアイデアが論理的で説得力があり少しでも社会に対して貢献できるようなレポートを作成することを目標とする。																																		
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 卒業レポートとは何か</td> <td>11. 個別指導</td> <td>21. 個別指導</td> </tr> <tr> <td>2. 研究テーマの設定</td> <td>12. 個別指導</td> <td>22. 個別指導</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集方法</td> <td>13. 個別指導</td> <td>23. 個別指導</td> </tr> <tr> <td>4. 文献の読み方</td> <td>14. 個別指導</td> <td>24. 個別指導</td> </tr> <tr> <td>5. 序論・本論・結びの原則</td> <td>15. 個別指導</td> <td>25. 個別指導</td> </tr> <tr> <td>6. 文章の書き方</td> <td>16. 個別指導</td> <td>26. 個別指導</td> </tr> <tr> <td>7. アウトライン作成と作業進行</td> <td>17. 個別指導</td> <td>27. 個別指導</td> </tr> <tr> <td>8. 個別指導</td> <td>18. 個別指導</td> <td>28. 個別指導</td> </tr> <tr> <td>9. 個別指導</td> <td>19. 個別指導</td> <td>29. 個別指導</td> </tr> <tr> <td>10. 個別指導</td> <td>20. 個別指導</td> <td>30. 卒業レポート発表とコメント</td> </tr> </table>					1. 卒業レポートとは何か	11. 個別指導	21. 個別指導	2. 研究テーマの設定	12. 個別指導	22. 個別指導	3. 資料収集方法	13. 個別指導	23. 個別指導	4. 文献の読み方	14. 個別指導	24. 個別指導	5. 序論・本論・結びの原則	15. 個別指導	25. 個別指導	6. 文章の書き方	16. 個別指導	26. 個別指導	7. アウトライン作成と作業進行	17. 個別指導	27. 個別指導	8. 個別指導	18. 個別指導	28. 個別指導	9. 個別指導	19. 個別指導	29. 個別指導	10. 個別指導	20. 個別指導	30. 卒業レポート発表とコメント
1. 卒業レポートとは何か	11. 個別指導	21. 個別指導																																	
2. 研究テーマの設定	12. 個別指導	22. 個別指導																																	
3. 資料収集方法	13. 個別指導	23. 個別指導																																	
4. 文献の読み方	14. 個別指導	24. 個別指導																																	
5. 序論・本論・結びの原則	15. 個別指導	25. 個別指導																																	
6. 文章の書き方	16. 個別指導	26. 個別指導																																	
7. アウトライン作成と作業進行	17. 個別指導	27. 個別指導																																	
8. 個別指導	18. 個別指導	28. 個別指導																																	
9. 個別指導	19. 個別指導	29. 個別指導																																	
10. 個別指導	20. 個別指導	30. 卒業レポート発表とコメント																																	
評価方法	1.自分独自のアイデア(30点) 2.論理性(20点) 3.文章力(20点) 4.文章構成 (20点) 5.社会的な貢献度 (10点)																																		
教材・教科書	担当教員が各々の学生にふさわしい教材を提供する。																																		
留意点	1.時間厳守 2.質問奨励 3.熱心な学習・研究態度 4.担当教員の専門分野に係る卒業レポート																																		

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	佐々木正晴
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41506
概要	[キーワード：問題, 目的, 方法, 結果, 考察] A. 問題を設定する。 B. その問題を解き明かす方法を立てる。 C. 方法に基づき, 資料の読み込み, あるいは実験を行う。				
到達目標	研究者およびお隣りのおじさんやおばさんが読み, 衝撃を受け, 理解してくれる卒業レポートを作成する。				
授業の内容	1.問題を設定 2.問題の妥当性を検討 3.方法の作成 4.他の方法を挙げる 5.方法の確定 6.関連文献の選択 7.関連文献の収集 8.文献購読. I 9.文献購読. II 10.文献総括	11.問題との関連性 12.他の文献探索 13.方法との関連性 14.他の方法との関連性 15.別な文献を探索 16.論文購読.III 17.目次作成 18.目次に文献名をはり付け 19.論文選択 20.論再購読	21.流れ図作成 22.文章作成. I 23.文章校正 24.パワーポイント発表. I 25.スライド修正 26.文章作成. II 27.文章校正 28.パワーポイント発表. II 29.文章作成.III 30.書式確認		
評価方法	出席 50 点. 論文 50 点.				
教材・教科書	なし, プリント配布				
留意点	週 1 回の打ち合わせに必ず出席すること.				

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	須川公央
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41507
概要	[キーワード：研究テーマの設定, 研究方法, 執筆方法] 主に前期では, 研究テーマの設定, 文献調査の方法, レポートを作成する際の注意点などを教授しつつ, 各自が設定したテーマに関する発表を行う。後期は, 個別指導を中心に, 実際にレポートを書き進める作業に着手することになる。				
到達目標	テーマ, 内容, 構成のすべての点において, 卒業レポートとして相応しいレポートを作成する。				
授業の内容	1. オリエンテーション 2. 研究テーマの設定 (1) 3. 研究テーマの設定 (2) 4. 文献収集 (1) 5. 文献収集 (2) 6. 集団指導 (1) 7. 集団指導 (2) 8. 集団指導 (3) 9. 集団指導 (4) 10. 集団指導 (5)	11. 集団指導 (6) 12. 集団指導 (7) 13. 集団指導 (8) 14. 集団指導 (9) 15. 中間報告会 16. 集団指導 (10) 17. 集団指導 (11) 18. 集団指導 (12) 19. 集団指導 (13) 20. 集団指導 (14)	21. 中間報告会 (2) 22. 集団指導 (15) 23. 集団指導 (16) 24. 集団指導 (17) 25. 集団指導 (18) 26. 最終報告会 27. 個別指導 (1) 28. 個別指導 (2) 29. 個別指導 (3) 30. 完成レポートの報告会		
評価方法	卒レポ検討会への出席(25点)およびレポートの完成度(75点)によって評価する。				
教材・教科書	特になし				
留意点	レポートの進捗に関しては, 指導日以外にもできる限り頻繁に報告・相談に来ること。				

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	森田猛
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41509
概要	[キーワード: 卒業レポートの作成] 先行研究の調査、資料の収集と分析からレポート執筆までを、全体指導と個別指導を併用しながら、サポートする。				
到達目標	これまでの学修を集大成するようなレポートを作成すること。				
授業の内容	1. 導入 2. 卒業レポートの様式 3. 先行研究、研究史 4. 資料収集 5. 前期の執筆計画について 6. テーマと方法 7. 個人発表・討論① 8. 個人発表・討論② 9. 個人発表・討論③ 10. 個人発表・討論④	11. 個人発表・討論⑤ 12. 個別指導① 13. 個別指導② 14. 個別指導③ 15. 前期まとめ 16. 進捗状況確認 17. 後期の執筆計画 18. 個人発表・討論⑥ 19. 個人発表・討論⑦ 20. 個人発表・討論⑧	21. 個人発表・討論⑨ 22. 個人発表・討論⑩ 23. 本論執筆上の注意 24. 註記と参考文献 25. 全体指導のまとめ 26. 個別指導④ 27. 個別指導⑤ 28. 個別指導⑥ 29. 個別指導⑦ 30. 個別指導⑧		
評価方法	出席 30%、レポート 70%				
教材・教科書	教科書は使用しない。必要に応じて、プリント等を配布する。				
留意点	指導はあくまでサポート過ぎない。執筆者本人の主体的な取り組みが大切。				

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	畠山篤
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41510
概要	[キーワード: 卒業レポートの作成] 先行研究の調査、史料収集から分析、レポート執筆までを、全体指導と個別指導を併用してサポートする。				
到達目標	形式・内容両面において、これまでの学修経験を集大成するような卒業レポートを作成すること。				
授業の内容	1~15 研究テーマの絞込み、先行研究の調査、史料収集・分析に注力し、研究の大まかな概略を把握するように努める。暫定的な「序論」と「結論」、章立て、参考文献を作成し、提出する。発表は1回以上。	16~30 「序論」と「結論」を結ぶ「本論」を執筆する。レポートの内容等にかんするメンバーとの討論を通して問題点を精査し、全体の調整を図る。発表は1回以上。			
評価方法	出席(30点)、論文の内容(70点)				
教材・教科書					
留意点	指導はあくまでサポートに過ぎない。レポートの執筆者の主体的な姿勢こそ重要。				

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	川浪亜弥子
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41511
概要	[キーワード：] 授業ではまず、トピックのを見つけ方、参考資料のを見つけ方、レポート作成の技術を学びます。その後、各自それぞれのトピックを見つけ、中間発表や教師とのやりとりを経て、レポートを完成させていきます。				
到達目標	独自のトピックを見つけ、独創的なレポートを書きあげることを目指します。				
授業の内容	1.オリエンテーション 2.トピックの絞りこみ 3.トピックの絞りこみ 4.資料のを見つけ方 5.資料のを見つけ方 6.アウトラインの作成 7.アウトラインの作成 8.アウトラインの作成 9.議論点の絞りこみ 10.議論点の絞りこみ	11.各章の構成の仕方 12.各章の構成の仕方 13.引用の仕方 14.引用の仕方 15.参考文献の書き方 16.レポート作成指導と発表 17.レポート作成指導と発表 18.レポート作成指導と発表 19.レポート作成指導と発表 20.レポート作成指導と発表	21.レポート作成指導と発表 22.レポート作成指導と発表 23.レポート作成指導と発表 24.レポート作成指導と発表 25.レポート作成指導と発表 26.レポート作成指導と発表 27.レポート作成指導と発表 28.レポート作成指導と発表 29.レポート作成指導と発表 30.レポート作成指導と発表		
評価方法	発表・レポート100%				
教材・教科書	『MLA 英語論文の手引き』第六版（北星堂）、および配布プリント				
留意点	レポートは一気にできるものではありません。教師と相談しながら、粘り強く少しずつ完成させていきましょう。				

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	顧偉良
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41512
概要	[キーワード：] 人文科学の意義は、言葉の文化および歴史に対する検証にある。卒業論文は、作家や作品をめぐる自らの問題意識の発見および論文の企画力を鍛える知的活動であるに違いない。				
到達目標	レポートの完成				
授業の内容	1. 卒業論文の構想について 2. 卒業論文の構想について 3. 卒業論文の構想について 4. 卒業論文の構想について 5. 卒業論文の構想について 6. 資料調査 7. 資料調査 8. 資料調査 9. 資料調査 10.資料調査	11. 口頭発表 12. 口頭発表 13. 口頭発表 14. 口頭発表 15. 口頭発表 16. 執筆指導 17. 執筆指導 18. 執筆指導 19. 執筆指導 20. 執筆指導	21. 執筆指導 22. 執筆指導 23. 執筆指導 24. 執筆指導 25. 執筆指導 26. 執筆指導 27. 執筆指導 28. 執筆指導 29. 執筆指導 30. 論文提出		
評価方法	出席率10点、卒業レポート90点				
教材・教科書	研究テーマに基づいて関連資料を指示する。				
留意点					

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	井上諭一
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41513
概要	<p>[キーワード: 問題発見、意志、倫理]</p> <p>自分自身の意志により問題を発見し、考え、解決していく。具体的には概ね毎週1回の指導を受け、前期中は主に調査を、後期には執筆を行う。</p>				
到達目標	研究上の倫理を守って研究を進める手順を体得し、レポートを完成させる。				
授業の内容	<p>前期;テキスト読破(「全集」のある作家ならば、ほぼそれを読み終わる程度) 参考文献、先行研究などの収集(そのためのリストづくりから始める)</p> <p>後期;主に執筆(下書き段階で継続的な指導を受ける。ただし、指導は「添削」ではないことに注意すること)10月初旬に「アウトライン」(章立て)、11月下旬に下書きの提出を義務づける。</p>				
評価方法	完成したレポートに対する評価のみ。				
教材・教科書	特に無し。				
留意点	指導への出席だけでは評価対象とならない。				

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	今村かほる																														
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41514																														
概要	<p>[キーワード: 学術研究の基礎を固める]</p> <p>学術論文の書き方、構成を理解し執筆する。</p>																																		
到達目標	学術研究の基礎を固めたレポートを作成する。																																		
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 学術研究をするということ</td> <td>11. 調査準備(1)</td> <td>21. 分析(2)</td> </tr> <tr> <td>2. レポートの構成</td> <td>12. 調査準備(2)</td> <td>22. 分析(3)</td> </tr> <tr> <td>3. 先行研究の求め方</td> <td>13. 調査準備(3)</td> <td>23. 執筆(1)</td> </tr> <tr> <td>4. 先行研究調査(1)</td> <td>14. 調査実施(4)</td> <td>24. 執筆(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 先行研究調査(2)</td> <td>15. 調査実施(5)</td> <td>25. 執筆(3)</td> </tr> <tr> <td>6. 仮説の求め方(1)</td> <td>16. 調査実施(6)</td> <td>26. 校正(1)</td> </tr> <tr> <td>7. 仮説の求め方(2)</td> <td>17. 資料整理(1)</td> <td>27. 校正(2)</td> </tr> <tr> <td>8. 調査計画(1)</td> <td>18. 資料整理(2)</td> <td>28. 発表準備</td> </tr> <tr> <td>9. 調査計画(2)</td> <td>19. 資料整理(3)</td> <td>29. 発表</td> </tr> <tr> <td>10. 調査計画(3)</td> <td>20. 分析(1)</td> <td>30. 総括</td> </tr> </table>					1. 学術研究をするということ	11. 調査準備(1)	21. 分析(2)	2. レポートの構成	12. 調査準備(2)	22. 分析(3)	3. 先行研究の求め方	13. 調査準備(3)	23. 執筆(1)	4. 先行研究調査(1)	14. 調査実施(4)	24. 執筆(2)	5. 先行研究調査(2)	15. 調査実施(5)	25. 執筆(3)	6. 仮説の求め方(1)	16. 調査実施(6)	26. 校正(1)	7. 仮説の求め方(2)	17. 資料整理(1)	27. 校正(2)	8. 調査計画(1)	18. 資料整理(2)	28. 発表準備	9. 調査計画(2)	19. 資料整理(3)	29. 発表	10. 調査計画(3)	20. 分析(1)	30. 総括
1. 学術研究をするということ	11. 調査準備(1)	21. 分析(2)																																	
2. レポートの構成	12. 調査準備(2)	22. 分析(3)																																	
3. 先行研究の求め方	13. 調査準備(3)	23. 執筆(1)																																	
4. 先行研究調査(1)	14. 調査実施(4)	24. 執筆(2)																																	
5. 先行研究調査(2)	15. 調査実施(5)	25. 執筆(3)																																	
6. 仮説の求め方(1)	16. 調査実施(6)	26. 校正(1)																																	
7. 仮説の求め方(2)	17. 資料整理(1)	27. 校正(2)																																	
8. 調査計画(1)	18. 資料整理(2)	28. 発表準備																																	
9. 調査計画(2)	19. 資料整理(3)	29. 発表																																	
10. 調査計画(3)	20. 分析(1)	30. 総括																																	
評価方法	出席 20 点・提出物 80 点																																		
教材・教科書																																			
留意点																																			

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	坂井任
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41515
概要	[キーワード 設問・問題解決・レポート作成] 自ら課題を発見し、解明し、他人に伝わる文章にする。				
到達目標	四年間の集大成として、自ら課題を発見し、必要な資料を収集し、課題を分析・考察する。そしてそれを、他人に伝わる文章・資料にまとめる。				
授業の内容	1. 指導打ち合わせ 2. テーマの検討 3. テーマの確定 4. 調査方針検討 5. 調査 6. 調査 7. 調査 8. 調査 9. 調査 10. 調査内容検討	11. 調査内容検討 12. 調査内容検討 13. 章立て検討 14. 原稿執筆 15. 原稿執筆・検討 16. 原稿執筆・検討 17. 原稿執筆・検討 18. 原稿執筆・検討 19. 原稿執筆・検討 20. 原稿執筆・検討	21. 原稿執筆・検討 22. 原稿執筆・検討 23. 原稿執筆・検討 24. 原稿執筆・検討 25. 原稿執筆・検討 26. 最終校正 27. 提出前確認 28. 卒業レポート提出 29. 要旨検討 30. 要旨提出		
評価方法	作成までのプロセス(50%)、レポートの達成度(50%)				
教材・教科書	授業時に指示。				
留意点	条件1：テーマが、英語・英米文学、日本語・日本文学の周辺領域に含まれること。 条件2：理論物理学または数学の手法を使って解明すること。				

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	鎌田学
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41516
概要	[キーワード：研究テーマを卒業レポートにまとめる] 問題を自分で設定し、それについて自分なりに（とはいっても他人に説得できる程度に論理的に）アプローチする。その途中で文献読破、言語表現化を繰り返し、最終的に「卒業レポート」にまとめあげる				
到達目標	自分の問題意識を深化させ、簡潔に表現する。				
授業の内容	1. ガイダンス 2. 問題を明確化する 3. 問題を明確化する② 4. 問題を明確化する③ 5. 問題を明確化する④ 6. 文献読破 7. 文献読破② 8. 文献読破③ 9. 文献読破④ 10. 文献読破⑤	11. 論の構成を考える 12. 論の構成を考える② 13. 論の構成を考える③ 14. 論の構成を考える④ 15. 論の構成を考える⑤ 16. 中間レポート提出 17. 問題を再検討する 18. 問題を再検討する② 19. 問題を再検討する③ 20. 問題を再検討する④	21. 中間レポート提出 22. 問題を再検討する 23. 問題を再検討する② 24. 問題を再検討する③ 25. レポートの形式を整える 26. レポートの形式を整える② 27. レポート推敲 28. 要旨作成 29. 要旨作成② 30. まとめ		
評価方法	出席 (50%) とレポート (50%)				
教材・教科書	用いない。				
留意点					

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	三浦一朗																														
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41517																														
概要	[キーワード： 日本近世文学、テーマ設定、意見の吟味、説得力のある論述] 興味がある近世の文学や文化の特質と魅力に迫るために、テーマを自ら設定して考える。他の人の意見にも耳を傾けつつ作品や文献を読解し、根拠を挙げて、自分の見解を論理的に述べる。																																		
到達目標	設定したテーマについて他の人の意見を鵜呑みにせず、しかし参考にすべきところには耳を傾けながら、根拠を挙げ、自分の意見を論理的に述べた卒業レポートを完成させる。																																		
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 【前期】 ガイダンス</td> <td>11. 先行論の整理①</td> <td>21. 作品と関連資料の分析②</td> </tr> <tr> <td>2. レポートの基本的構成</td> <td>12. 先行論の整理②</td> <td>22. 作品と関連資料の分析③</td> </tr> <tr> <td>3. 扱う作者・作品の絞り込み</td> <td>13. 研究計画作成①</td> <td>23. レポート執筆と推敲①</td> </tr> <tr> <td>4. 作者・作品の基礎的調査</td> <td>14. 研究計画作成②</td> <td>24. レポート執筆と推敲②</td> </tr> <tr> <td>5. 調査報告と確認</td> <td>15. 研究計画作成③</td> <td>25. レポート執筆と推敲③</td> </tr> <tr> <td>6. 作品通読（以下継続）</td> <td>16. 【後期】 中間構想発表</td> <td>26. レポート執筆と推敲④</td> </tr> <tr> <td>7. 参考文献リストの作成</td> <td>17. 具体的な執筆計画作成①</td> <td>27. レポート執筆と推敲⑤</td> </tr> <tr> <td>8. 先行論の收拾と読解①</td> <td>18. 具体的な執筆計画作成②</td> <td>28. レポート評価①</td> </tr> <tr> <td>9. 先行論の收拾と読解②</td> <td>19. 具体的な執筆計画作成③</td> <td>29. レポート評価②</td> </tr> <tr> <td>10. 先行論の收拾と読解③</td> <td>20. 作品と関連資料の分析①</td> <td>30. 総括</td> </tr> </table>					1. 【前期】 ガイダンス	11. 先行論の整理①	21. 作品と関連資料の分析②	2. レポートの基本的構成	12. 先行論の整理②	22. 作品と関連資料の分析③	3. 扱う作者・作品の絞り込み	13. 研究計画作成①	23. レポート執筆と推敲①	4. 作者・作品の基礎的調査	14. 研究計画作成②	24. レポート執筆と推敲②	5. 調査報告と確認	15. 研究計画作成③	25. レポート執筆と推敲③	6. 作品通読（以下継続）	16. 【後期】 中間構想発表	26. レポート執筆と推敲④	7. 参考文献リストの作成	17. 具体的な執筆計画作成①	27. レポート執筆と推敲⑤	8. 先行論の收拾と読解①	18. 具体的な執筆計画作成②	28. レポート評価①	9. 先行論の收拾と読解②	19. 具体的な執筆計画作成③	29. レポート評価②	10. 先行論の收拾と読解③	20. 作品と関連資料の分析①	30. 総括
1. 【前期】 ガイダンス	11. 先行論の整理①	21. 作品と関連資料の分析②																																	
2. レポートの基本的構成	12. 先行論の整理②	22. 作品と関連資料の分析③																																	
3. 扱う作者・作品の絞り込み	13. 研究計画作成①	23. レポート執筆と推敲①																																	
4. 作者・作品の基礎的調査	14. 研究計画作成②	24. レポート執筆と推敲②																																	
5. 調査報告と確認	15. 研究計画作成③	25. レポート執筆と推敲③																																	
6. 作品通読（以下継続）	16. 【後期】 中間構想発表	26. レポート執筆と推敲④																																	
7. 参考文献リストの作成	17. 具体的な執筆計画作成①	27. レポート執筆と推敲⑤																																	
8. 先行論の收拾と読解①	18. 具体的な執筆計画作成②	28. レポート評価①																																	
9. 先行論の收拾と読解②	19. 具体的な執筆計画作成③	29. レポート評価②																																	
10. 先行論の收拾と読解③	20. 作品と関連資料の分析①	30. 総括																																	
評価方法	提出された卒業レポートの内容で評価する。ただし、前期から継続して定期的に指導を受けることを評価の必要条件とする。定期的に指導を受けずに、卒業レポートだけを提出することはできない。																																		
教材・教科書	各自が選んだ作者や作品、テーマによって個別に指導する。																																		
留意点	弘前大学図書館の共通利用証を作っておくこと。 必ず期日までに卒業レポートを完成させて提出すること。																																		

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	野沢勝夫																														
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41518																														
概要	[キーワード 参考文献 論文の書き方] <各自のテーマに沿って個別に行う>																																		
到達目標	充実した卒業レポートを作成すること。																																		
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 執筆の方法(1)</td> <td>11. 執筆(6)</td> <td>21. 推敲(1)</td> </tr> <tr> <td>2. 執筆の方法(2)</td> <td>12. 執筆(7)</td> <td>22. 推敲(2)</td> </tr> <tr> <td>3. 執筆の方法(3)</td> <td>13. 執筆(8)</td> <td>23. 推敲(3)</td> </tr> <tr> <td>4. 執筆の方法(4)</td> <td>14. 執筆(9)</td> <td>24. 推敲(4)</td> </tr> <tr> <td>5. 執筆の方法(5)</td> <td>15. 執筆(10)</td> <td>25. 推敲(5)</td> </tr> <tr> <td>6. 執筆(1)</td> <td>16. 執筆(11)</td> <td>26. 推敲(6)</td> </tr> <tr> <td>7. 執筆(2)</td> <td>17. 執筆(12)</td> <td>27. 推敲(7)</td> </tr> <tr> <td>8. 執筆(3)</td> <td>18. 執筆(13)</td> <td>28. 推敲(8)</td> </tr> <tr> <td>9. 執筆(4)</td> <td>19. 執筆(14)</td> <td>29. 推敲(9)</td> </tr> <tr> <td>10. 執筆(5)</td> <td>20. 執筆(15)</td> <td>30. 推敲(10)</td> </tr> </table>					1. 執筆の方法(1)	11. 執筆(6)	21. 推敲(1)	2. 執筆の方法(2)	12. 執筆(7)	22. 推敲(2)	3. 執筆の方法(3)	13. 執筆(8)	23. 推敲(3)	4. 執筆の方法(4)	14. 執筆(9)	24. 推敲(4)	5. 執筆の方法(5)	15. 執筆(10)	25. 推敲(5)	6. 執筆(1)	16. 執筆(11)	26. 推敲(6)	7. 執筆(2)	17. 執筆(12)	27. 推敲(7)	8. 執筆(3)	18. 執筆(13)	28. 推敲(8)	9. 執筆(4)	19. 執筆(14)	29. 推敲(9)	10. 執筆(5)	20. 執筆(15)	30. 推敲(10)
1. 執筆の方法(1)	11. 執筆(6)	21. 推敲(1)																																	
2. 執筆の方法(2)	12. 執筆(7)	22. 推敲(2)																																	
3. 執筆の方法(3)	13. 執筆(8)	23. 推敲(3)																																	
4. 執筆の方法(4)	14. 執筆(9)	24. 推敲(4)																																	
5. 執筆の方法(5)	15. 執筆(10)	25. 推敲(5)																																	
6. 執筆(1)	16. 執筆(11)	26. 推敲(6)																																	
7. 執筆(2)	17. 執筆(12)	27. 推敲(7)																																	
8. 執筆(3)	18. 執筆(13)	28. 推敲(8)																																	
9. 執筆(4)	19. 執筆(14)	29. 推敲(9)																																	
10. 執筆(5)	20. 執筆(15)	30. 推敲(10)																																	
評価方法	出席状況 30%、卒業レポートの出来栄え 70%																																		
教材・教科書	個別に指示する。																																		
留意点	教師になるべく頻繁に接触するように心掛けてほしい。																																		

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	丸山正道																														
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41519																														
概要	[キーワード 中世文学、和歌文学、説話文学] 自分の卒業レポートの研究テーマに基づいて、その文献調査、その文献の読解、その文献を卒業レポートに応用していく手順と、その研究発表。																																		
到達目標	中世文学、和歌文学、説話文学を日本文学の研究対象とし、研究者独自の考え方を養成しながら、研究に立ち向かい、卒業レポートを完成させる。																																		
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.年間計画。研究・執筆の心構え等。</td> <td>11.卒業レポート執筆(1)</td> <td>21.卒業レポート執筆(11)</td> </tr> <tr> <td>2.卒業レポートテーマ探究(1)</td> <td>12.卒業レポート執筆(2)</td> <td>22.卒業レポート執筆(12)</td> </tr> <tr> <td>3.卒業レポートテーマ探究(2)</td> <td>13.卒業レポート執筆(3)</td> <td>23.卒業レポート執筆(13)</td> </tr> <tr> <td>4.卒業レポートテーマ探究(3)</td> <td>14.卒業レポート執筆(4)</td> <td>24.卒業レポート執筆(14)</td> </tr> <tr> <td>5.卒業レポート執筆準備(1)</td> <td>15.卒業レポート執筆(5)</td> <td>25.卒業レポート執筆(15)</td> </tr> <tr> <td>6.卒業レポート執筆準備(2)</td> <td>16.卒業レポート執筆(6)</td> <td>26.卒業レポート執筆(16)</td> </tr> <tr> <td>7.卒業レポート執筆準備(1)</td> <td>17.卒業レポート執筆(7)</td> <td>27.卒業レポート執筆(17)</td> </tr> <tr> <td>8.卒業レポート執筆準備(2)</td> <td>18.卒業レポート執筆(8)</td> <td>28.卒業レポート執筆(18)</td> </tr> <tr> <td>9.卒業レポート執筆準備(3)</td> <td>19.卒業レポート執筆(9)</td> <td>29.卒業論文提出</td> </tr> <tr> <td>10.卒業レポート執筆準備(4)</td> <td>20.卒業レポート執筆(10)</td> <td>30.反省点、その他</td> </tr> </table>					1.年間計画。研究・執筆の心構え等。	11.卒業レポート執筆(1)	21.卒業レポート執筆(11)	2.卒業レポートテーマ探究(1)	12.卒業レポート執筆(2)	22.卒業レポート執筆(12)	3.卒業レポートテーマ探究(2)	13.卒業レポート執筆(3)	23.卒業レポート執筆(13)	4.卒業レポートテーマ探究(3)	14.卒業レポート執筆(4)	24.卒業レポート執筆(14)	5.卒業レポート執筆準備(1)	15.卒業レポート執筆(5)	25.卒業レポート執筆(15)	6.卒業レポート執筆準備(2)	16.卒業レポート執筆(6)	26.卒業レポート執筆(16)	7.卒業レポート執筆準備(1)	17.卒業レポート執筆(7)	27.卒業レポート執筆(17)	8.卒業レポート執筆準備(2)	18.卒業レポート執筆(8)	28.卒業レポート執筆(18)	9.卒業レポート執筆準備(3)	19.卒業レポート執筆(9)	29.卒業論文提出	10.卒業レポート執筆準備(4)	20.卒業レポート執筆(10)	30.反省点、その他
1.年間計画。研究・執筆の心構え等。	11.卒業レポート執筆(1)	21.卒業レポート執筆(11)																																	
2.卒業レポートテーマ探究(1)	12.卒業レポート執筆(2)	22.卒業レポート執筆(12)																																	
3.卒業レポートテーマ探究(2)	13.卒業レポート執筆(3)	23.卒業レポート執筆(13)																																	
4.卒業レポートテーマ探究(3)	14.卒業レポート執筆(4)	24.卒業レポート執筆(14)																																	
5.卒業レポート執筆準備(1)	15.卒業レポート執筆(5)	25.卒業レポート執筆(15)																																	
6.卒業レポート執筆準備(2)	16.卒業レポート執筆(6)	26.卒業レポート執筆(16)																																	
7.卒業レポート執筆準備(1)	17.卒業レポート執筆(7)	27.卒業レポート執筆(17)																																	
8.卒業レポート執筆準備(2)	18.卒業レポート執筆(8)	28.卒業レポート執筆(18)																																	
9.卒業レポート執筆準備(3)	19.卒業レポート執筆(9)	29.卒業論文提出																																	
10.卒業レポート執筆準備(4)	20.卒業レポート執筆(10)	30.反省点、その他																																	
評価方法	自分が研究していることが、研究レポートとして、形をなしていることが、肝腎。出席点 20、研究発表・提出卒業レポートの点 80。計 100 点。																																		
教材・教科書	自分の研究テーマに基づいた、文学作品・作家をテキストとして、1 点は、必ず用意すること。																																		
留意点	史料綜覧、大日本史料、日本古典文学大系 100 冊(岩波書店刊)、新 日本古典文学大系 100 冊(岩波書店刊)を、必ず念頭において、文献調査・読解していくこと。																																		

卒業レポート

科目名	卒業レポート			担当教員	生島美和																														
対象学年	EJ4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	E41520																														
概要	[キーワード：社会教育施設の運営・役割] 前期は、問題意識を明確化しながら、文献解題や資料の収集・読解、調査計画を行い、全体校正を設計する。後期は、自身の課題について探究を深めつつ、論述する。																																		
到達目標	自身の問題関心を明確にし、その解明に向けた作業の方法や手順、分析について検討しながら卒業レポートを完成させる。																																		
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>11. 調査実施②</td> <td>21. 執筆状況の確認①</td> </tr> <tr> <td>2. 課題の設定①</td> <td>12. 調査実施③</td> <td>22. 執筆状況の確認②</td> </tr> <tr> <td>3. 課題の設定②</td> <td>13. 調査分析①</td> <td>23. 執筆状況の確認③</td> </tr> <tr> <td>4. 先行研究の検討・文献解題①</td> <td>14. 調査分析②</td> <td>24. 執筆状況の確認④</td> </tr> <tr> <td>5. 先行研究の検討・文献解題②</td> <td>15. 調査分析③</td> <td>25. 執筆状況の確認⑤</td> </tr> <tr> <td>6. 先行研究の検討・文献解題③</td> <td>16. 調査分析④</td> <td>26. 執筆状況の確認⑥</td> </tr> <tr> <td>7. 調査計画づくり①</td> <td>17. 考察①</td> <td>27. 執筆状況の確認⑦</td> </tr> <tr> <td>8. 調査計画づくり②</td> <td>18. 章立て検討②</td> <td>28. 執筆状況の確認⑧</td> </tr> <tr> <td>9. 章立て検討①</td> <td>19. 考察②</td> <td>29. 執筆状況の確認⑨</td> </tr> <tr> <td>10.調査実施①</td> <td>20. 考察③</td> <td>30. 発表</td> </tr> </table>					1. オリエンテーション	11. 調査実施②	21. 執筆状況の確認①	2. 課題の設定①	12. 調査実施③	22. 執筆状況の確認②	3. 課題の設定②	13. 調査分析①	23. 執筆状況の確認③	4. 先行研究の検討・文献解題①	14. 調査分析②	24. 執筆状況の確認④	5. 先行研究の検討・文献解題②	15. 調査分析③	25. 執筆状況の確認⑤	6. 先行研究の検討・文献解題③	16. 調査分析④	26. 執筆状況の確認⑥	7. 調査計画づくり①	17. 考察①	27. 執筆状況の確認⑦	8. 調査計画づくり②	18. 章立て検討②	28. 執筆状況の確認⑧	9. 章立て検討①	19. 考察②	29. 執筆状況の確認⑨	10.調査実施①	20. 考察③	30. 発表
1. オリエンテーション	11. 調査実施②	21. 執筆状況の確認①																																	
2. 課題の設定①	12. 調査実施③	22. 執筆状況の確認②																																	
3. 課題の設定②	13. 調査分析①	23. 執筆状況の確認③																																	
4. 先行研究の検討・文献解題①	14. 調査分析②	24. 執筆状況の確認④																																	
5. 先行研究の検討・文献解題②	15. 調査分析③	25. 執筆状況の確認⑤																																	
6. 先行研究の検討・文献解題③	16. 調査分析④	26. 執筆状況の確認⑥																																	
7. 調査計画づくり①	17. 考察①	27. 執筆状況の確認⑦																																	
8. 調査計画づくり②	18. 章立て検討②	28. 執筆状況の確認⑧																																	
9. 章立て検討①	19. 考察②	29. 執筆状況の確認⑨																																	
10.調査実施①	20. 考察③	30. 発表																																	
評価方法	作業への取り組み、経過報告、完成した卒業レポートの内容、発表から総合的に判断する。																																		
教材・教科書	指定しない																																		
留意点																																			

共通専攻・共通関連科目

科目名	文学の基礎【2013年度入学生】			担当教員	佐藤和博																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B52009																		
概要	〔キーワード： 世界文学〕																						
到達目標	さまざまな作品を読みながら、それを生み出した文化の諸相を考察する。 そして、その諸相を越えた世界文学の可能性について考える。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 世界文学の可能性</td> <td>10. アイディアを作る</td> </tr> <tr> <td>2. プルースト</td> <td>11. セルバンテス</td> </tr> <tr> <td>3. プルースト</td> <td>12. ガルシア・マルケス</td> </tr> <tr> <td>4. ジョイス</td> <td>13. ナボコフ</td> </tr> <tr> <td>5. シェイクスピア</td> <td>14. サド</td> </tr> <tr> <td>6. シェイクスピア</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. シェイクスピア</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. ポー、デフォー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. デフォー</td> <td></td> </tr> </table>					1. 世界文学の可能性	10. アイディアを作る	2. プルースト	11. セルバンテス	3. プルースト	12. ガルシア・マルケス	4. ジョイス	13. ナボコフ	5. シェイクスピア	14. サド	6. シェイクスピア	15. まとめ	7. シェイクスピア		8. ポー、デフォー		9. デフォー	
1. 世界文学の可能性	10. アイディアを作る																						
2. プルースト	11. セルバンテス																						
3. プルースト	12. ガルシア・マルケス																						
4. ジョイス	13. ナボコフ																						
5. シェイクスピア	14. サド																						
6. シェイクスピア	15. まとめ																						
7. シェイクスピア																							
8. ポー、デフォー																							
9. デフォー																							
評価方法	レポート (50%) 及び出席(50%)																						
教材・教科書	プリント使用																						
留意点																							

共通専攻・共通関連科目

科目名	文学概論A			担当教員	佐藤和博
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B52000
概要	「文学の基礎【2013年度入学生】」を参照してください。				
到達目標					
授業の内容					
評価方法					
教材・教科書					
留意点					

共通専攻・共通関連科目

科目名	文学概論 B		担当教員	井上諭一
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード B52001
概要	<p>[キーワード： 批評理論、ポスト構造主義、フランケンシュタイン]</p> <p>文学部における文学研究の基礎をなすものとして、いわゆる“批評理論”（ここでは“文学理論”と同義）について講義する。具体的には、20世紀から21世紀にかけての理論の発展過程を追う。一つの作品を軸としたテキストを用い、それに関連づけて出来る限り平易に解説する。</p>			
到達目標	<p>現代の批評理論について、バランスの取れた知識と理解力を得ることを目的とする。講義の中心となる考え方は、「テキスト相互連関」（「間テキスト性」）および「脱構築」である。これを理解するための前段階として、ロシア・フォルマリズムから始めて構造主義文学批評、読者中心批評などにも言及する。</p>			
授業の内容	<p>1. 導入；問題点の紹介 2. ストーリーとプロット 3. 語り手 4. 焦点 5. 叙述と時間 6. 描写 7. 声 8. 異化 9. 間テキスト 10. 読者反応批評 11. 脱構築批評 12. 精神分析批評 13. フェミニズム批評・ジェンダー批評 14. 文化批評・ポストコロニアル批評 15. まとめ</p>			
評価方法	<p>出席、小レポート、試験（講義時間内に行う）を総合する。 試験は持ち込み不可で45分、70点満点。レポートは30点満点。欠席1回につき3点をマイナスする。</p>			
教材・教科書	<p>広野由美子『批評理論入門 「フランケンシュタイン」解剖講義』（中公新書） および Mary Shelley『フランケンシュタイン』（森下弓子 訳）東京創元社</p>			
留意点	<p>講義開始前（夏休み中）に『フランケンシュタイン』を読破すること。</p>			

共通専攻・共通関連科目

科目名	比較文学 B		担当教員	顧偉良
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード B52003
概要	<p>[キーワード：]</p> <p>夏目漱石の「現代日本の開化」、「私の個人主義」などの作品を通して、漱石と現代日本について考える。</p>			
到達目標	<p>夏目漱石の理解</p>			
授業の内容	<p>1. 『夢十夜』について 2. 『夢十夜』について 3. 『夢十夜』について 4. 『夢十夜』について 5. 『夢十夜』について 6. 『夢十夜』について 7. 『夢十夜』について 8. 「現代日本の開化」 9. 「現代日本の開化」 10. 「私の個人主義」について 11. 「私の個人主義」について 12. 「写生文」について 13. 「写生文」について 14. 「写生文」について 15. 「写生文」について</p>			
評価方法	<p>出席率30 レポート70点</p>			
教材・教科書	<p>プリント配布</p>			
留意点				

共通専攻・共通関連科目

科目名	言語学の基礎【2013年度入学生】		担当教員	今村かほる																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード B52011																		
概要	<p>[キーワード 入門 ことばの科学]</p> <p>ことばに科学的メスを入れて、これまで気づけなかったことばの不思議や面白さに気づき、ことばの科学としての言語研究の端緒とする。 人間の言語と他の動物の言語の違いや、諸言語に共通な特徴を概説する。</p>																					
到達目標	<p>ことばに興味を持つ。 言語学の基礎を身につける。</p>																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 講義の進め方についてのガイダンス</td> <td>10. 意味</td> </tr> <tr> <td>2. 動物のことば・人間のことば</td> <td>11. ことばの運用</td> </tr> <tr> <td>3. 世界の言語</td> <td>12. ことばと脳</td> </tr> <tr> <td>4. 言語の変化</td> <td>13. ことばと文化・社会</td> </tr> <tr> <td>5. 文字</td> <td>14. ことばと遊び</td> </tr> <tr> <td>6. 言語の構造</td> <td>15. 試験</td> </tr> <tr> <td>7. 言語の構造</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 言語の構造</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 談話</td> <td></td> </tr> </table>				1. 講義の進め方についてのガイダンス	10. 意味	2. 動物のことば・人間のことば	11. ことばの運用	3. 世界の言語	12. ことばと脳	4. 言語の変化	13. ことばと文化・社会	5. 文字	14. ことばと遊び	6. 言語の構造	15. 試験	7. 言語の構造		8. 言語の構造		9. 談話	
1. 講義の進め方についてのガイダンス	10. 意味																					
2. 動物のことば・人間のことば	11. ことばの運用																					
3. 世界の言語	12. ことばと脳																					
4. 言語の変化	13. ことばと文化・社会																					
5. 文字	14. ことばと遊び																					
6. 言語の構造	15. 試験																					
7. 言語の構造																						
8. 言語の構造																						
9. 談話																						
評価方法	出席 20・試験 60・提出物 20																					
教材・教科書	中島平三・外池滋生『言語学への招待』大修館 ¥2.100																					
留意点	課題は多い。																					

共通専攻・共通関連科目

科目名	言語学概論		担当教員	今村かほる
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード B52004
概要	<p>「言語学の基礎【2013年度入学生】」を参照してください。</p>			
到達目標				
授業の内容				
評価方法				
教材・教科書				
留意点				

共通専攻・共通関連科目

科目名	英語音声学		担当教員	内海 淳																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード B52005																		
概要	<p>[キーワード：分節音、音節、強勢、イントネーション] 英語の発音に関わる基本的な事項である分節音、音節、強勢、イントネーションの仕組みを概説し、英語の正確な発音方法を具体的な事例を用いて解説する。</p>																					
到達目標	英語の正しい発音の仕方を身につけると同時に、発音記号の正しい使い方も身につける。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 音声学的視点とはなにか</td> <td>10. 強勢の位置</td> </tr> <tr> <td>2. 分節音</td> <td>11. 強形と弱形</td> </tr> <tr> <td>3. 調音器官</td> <td>12. イントネーション</td> </tr> <tr> <td>4. 五十音図の配列</td> <td>13. リズム</td> </tr> <tr> <td>5. 母音群</td> <td>14. 強勢衝突と強勢移動</td> </tr> <tr> <td>6. 子音群</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 音節</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 音節主音の子音</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 連結・同化・削除</td> <td></td> </tr> </table>				1. 音声学的視点とはなにか	10. 強勢の位置	2. 分節音	11. 強形と弱形	3. 調音器官	12. イントネーション	4. 五十音図の配列	13. リズム	5. 母音群	14. 強勢衝突と強勢移動	6. 子音群	15. まとめ	7. 音節		8. 音節主音の子音		9. 連結・同化・削除	
1. 音声学的視点とはなにか	10. 強勢の位置																					
2. 分節音	11. 強形と弱形																					
3. 調音器官	12. イントネーション																					
4. 五十音図の配列	13. リズム																					
5. 母音群	14. 強勢衝突と強勢移動																					
6. 子音群	15. まとめ																					
7. 音節																						
8. 音節主音の子音																						
9. 連結・同化・削除																						
評価方法	実際の発音練習が必須なため、出席時の活動評価 60 点、試験 40 点とする。																					
教材・教科書	服部範子「入門英語音声学」研究社 ISBN-13: 978-4327421892																					
留意点	毎回、実際に発音練習をすることが求められます。																					

共通専攻・共通関連科目

科目名	日本語音声学		担当教員	今村かほる
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード B52006
概要	<p>「日本語音声学【2013 年度入学生】」を参照してください。</p>			
到達目標				
授業の内容				
評価方法				
教材・教科書				
留意点				

共通専攻・共通関連科目

科目名	言語学各論			担当教員	今村かほる																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	B52008																		
概要	〔キーワード： 社会言語学 〕																						
到達目標																							
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 講義の進め方と評価について</td> <td>10. 言語接触(2)</td> </tr> <tr> <td>2. 社会とことば</td> <td>11. 言語変化(1)</td> </tr> <tr> <td>3. 言語変種(1)</td> <td>12. 言語変化(2)</td> </tr> <tr> <td>4. 言語変種(2)</td> <td>13. 言語意識(1)</td> </tr> <tr> <td>5. 言語行動(3)</td> <td>14. 言語意識(2)</td> </tr> <tr> <td>6. 言語行動(4)</td> <td>15. 言語政策</td> </tr> <tr> <td>7. 言語生活(1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 言語生活(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 言語接触(1)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 講義の進め方と評価について	10. 言語接触(2)	2. 社会とことば	11. 言語変化(1)	3. 言語変種(1)	12. 言語変化(2)	4. 言語変種(2)	13. 言語意識(1)	5. 言語行動(3)	14. 言語意識(2)	6. 言語行動(4)	15. 言語政策	7. 言語生活(1)		8. 言語生活(2)		9. 言語接触(1)	
1. 講義の進め方と評価について	10. 言語接触(2)																						
2. 社会とことば	11. 言語変化(1)																						
3. 言語変種(1)	12. 言語変化(2)																						
4. 言語変種(2)	13. 言語意識(1)																						
5. 言語行動(3)	14. 言語意識(2)																						
6. 言語行動(4)	15. 言語政策																						
7. 言語生活(1)																							
8. 言語生活(2)																							
9. 言語接触(1)																							
評価方法	出席と提出物																						
教材・教科書	真田信治編著 『社会言語学』おうふう																						
留意点																							

共通専攻・共通関連科目

科目名	現代の思想			担当教員	鎌田学																		
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B53031																		
概要	〔キーワード：ニーチェ『ツァラトゥストラかく語りき』 〕 前年度に引き続き「ツァラトゥストラかく語りき」の講読。 ゼミ参加者のそれぞれが解釈を出し合って、理解を試みる。																						
到達目標	テキストに喰らいついて、なんとか理解に至ること。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>10. 千及一の目標</td> </tr> <tr> <td>2. 読むことと、書くこと</td> <td>11. 隣人の愛</td> </tr> <tr> <td>3. 山腹の樹</td> <td>12. 創造者の道</td> </tr> <tr> <td>4. 死の説教者</td> <td>13. 老いたる女と若き女</td> </tr> <tr> <td>5. 戦争と戦士</td> <td>14. 蝮の咬毒</td> </tr> <tr> <td>6. 新しい偶像</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 市場の蠅</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 純潔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 友</td> <td></td> </tr> </table>					1. ガイダンス	10. 千及一の目標	2. 読むことと、書くこと	11. 隣人の愛	3. 山腹の樹	12. 創造者の道	4. 死の説教者	13. 老いたる女と若き女	5. 戦争と戦士	14. 蝮の咬毒	6. 新しい偶像	15. まとめ	7. 市場の蠅		8. 純潔		9. 友	
1. ガイダンス	10. 千及一の目標																						
2. 読むことと、書くこと	11. 隣人の愛																						
3. 山腹の樹	12. 創造者の道																						
4. 死の説教者	13. 老いたる女と若き女																						
5. 戦争と戦士	14. 蝮の咬毒																						
6. 新しい偶像	15. まとめ																						
7. 市場の蠅																							
8. 純潔																							
9. 友																							
評価方法	出席 (50%)、期末試験(50%)																						
教材・教科書	ニーチェ「ツァラトゥストラかく語りき(上)」(新潮文庫、540円)																						
留意点	初回時、教科書必ず持参のこと。																						

共通専攻・共通関連科目

科目名	民俗学			担当教員	畠山篤																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B53000																		
概要	[キーワード: 北と南・習俗・信仰・語り] 日本の、とくに北と南の伝統的な習俗・信仰に重点を置いて、民俗が語りを生成、継承していくことを述べる。																						
到達目標	日本の、とくに北と南の風俗・信仰に親しく接し、民俗が語りを産み出し、育ててきた母胎であることを知る。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 昔話の三番叟＝河童火やろう、鶴と亀</td> <td>10. 北と南の綱引き(2)</td> </tr> <tr> <td>2. 子育て幽霊と葬送儀礼</td> <td>11. 山伏神楽「蕨折り」</td> </tr> <tr> <td>3. 座敷ワラシの秘密</td> <td>12. 山伏神楽<鐘巻>(1)</td> </tr> <tr> <td>4. 間引きの習俗(1)</td> <td>13. 山伏神楽<鐘巻>(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 間引きの習俗(2)</td> <td>14. 組踊り<執心鐘巻></td> </tr> <tr> <td>6. アイヌの入れ墨の由来</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 南島の入墨の由来</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 古代の入墨伝承</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 北と南の綱引き(1)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 昔話の三番叟＝河童火やろう、鶴と亀	10. 北と南の綱引き(2)	2. 子育て幽霊と葬送儀礼	11. 山伏神楽「蕨折り」	3. 座敷ワラシの秘密	12. 山伏神楽<鐘巻>(1)	4. 間引きの習俗(1)	13. 山伏神楽<鐘巻>(2)	5. 間引きの習俗(2)	14. 組踊り<執心鐘巻>	6. アイヌの入れ墨の由来	15. まとめ	7. 南島の入墨の由来		8. 古代の入墨伝承		9. 北と南の綱引き(1)	
1. 昔話の三番叟＝河童火やろう、鶴と亀	10. 北と南の綱引き(2)																						
2. 子育て幽霊と葬送儀礼	11. 山伏神楽「蕨折り」																						
3. 座敷ワラシの秘密	12. 山伏神楽<鐘巻>(1)																						
4. 間引きの習俗(1)	13. 山伏神楽<鐘巻>(2)																						
5. 間引きの習俗(2)	14. 組踊り<執心鐘巻>																						
6. アイヌの入れ墨の由来	15. まとめ																						
7. 南島の入墨の由来																							
8. 古代の入墨伝承																							
9. 北と南の綱引き(1)																							
評価方法	出席(30点)、感想文2本(35点×2)																						
教材・教科書	毎回プリントを渡す。																						
留意点	感想文は一定のレベルに達するまで添削と再提出を反復する。																						

共通専攻・共通関連科目

科目名	考古学			担当教員	鈴木克彦																
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B53001																
概要	[キーワード: 考古学、文化財、縄文文化、弥生文化、古墳文化に対する知識を学ぶ、縄文時代から弥生、古墳時代の歴史、特に縄文・弥生時代の社会構造の比較、魏志倭人伝、邪馬台国、卑弥呼]																				
到達目標	考古学が対象にする遺物、遺構を観察し、主に縄文文化、弥生文化、古墳文化の内容や日本文化の成り立ちを理解する。 その文化、社会の事象、事物を、考古学の方法で分析する認識力を養う。人類文化の歴史認識、普遍性を学ぶ。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 考古学の概要(人類学としての考古学、考古学史、時代区分、型式学)</td> <td>8. 縄文時代の装身文化と弥生文化1: 縄文社会と弥生社会の比較(ヒエラルキー)、大陸文化の渡来、「魏志倭人伝」の講読と邪馬台国、卑弥呼など</td> </tr> <tr> <td>2. 旧石器時代から縄文時代(ビデオ)</td> <td>9. 弥生文化2: 「魏志倭人伝」の講読</td> </tr> <tr> <td>3. 旧石器時代の知識(氷河期、人類文化、日本列島の成り立ちなど)</td> <td>10. 弥生文化3: 「魏志倭人伝」の講読</td> </tr> <tr> <td>4. 縄文時代の知識(生活、生業、遺跡分布・文化圏、交流など)</td> <td>11. 弥生文化4: 「魏志倭人伝」の講読、弥生から古墳時代へ</td> </tr> <tr> <td>5. 縄文時代の住居(住居、住居構成員、社会組織、集落、村落、社会構造)</td> <td>12. 古墳文化1</td> </tr> <tr> <td>6. 縄文時代の信仰(信仰遺物・遺構、死霊信仰観、祭祀)</td> <td>13. 古墳文化2、国家の成立へ</td> </tr> <tr> <td>7. 縄文時代の葬墓制(墓、墓域、葬制、副葬、葬送規制)</td> <td>14. 文化財学(文化財保護法、埋蔵文化財、世界遺産)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15. 青森県の縄文文化と弥生時代の特徴、まとめ</td> </tr> </table>					1. 考古学の概要(人類学としての考古学、考古学史、時代区分、型式学)	8. 縄文時代の装身文化と弥生文化1: 縄文社会と弥生社会の比較(ヒエラルキー)、大陸文化の渡来、「魏志倭人伝」の講読と邪馬台国、卑弥呼など	2. 旧石器時代から縄文時代(ビデオ)	9. 弥生文化2: 「魏志倭人伝」の講読	3. 旧石器時代の知識(氷河期、人類文化、日本列島の成り立ちなど)	10. 弥生文化3: 「魏志倭人伝」の講読	4. 縄文時代の知識(生活、生業、遺跡分布・文化圏、交流など)	11. 弥生文化4: 「魏志倭人伝」の講読、弥生から古墳時代へ	5. 縄文時代の住居(住居、住居構成員、社会組織、集落、村落、社会構造)	12. 古墳文化1	6. 縄文時代の信仰(信仰遺物・遺構、死霊信仰観、祭祀)	13. 古墳文化2、国家の成立へ	7. 縄文時代の葬墓制(墓、墓域、葬制、副葬、葬送規制)	14. 文化財学(文化財保護法、埋蔵文化財、世界遺産)		15. 青森県の縄文文化と弥生時代の特徴、まとめ
1. 考古学の概要(人類学としての考古学、考古学史、時代区分、型式学)	8. 縄文時代の装身文化と弥生文化1: 縄文社会と弥生社会の比較(ヒエラルキー)、大陸文化の渡来、「魏志倭人伝」の講読と邪馬台国、卑弥呼など																				
2. 旧石器時代から縄文時代(ビデオ)	9. 弥生文化2: 「魏志倭人伝」の講読																				
3. 旧石器時代の知識(氷河期、人類文化、日本列島の成り立ちなど)	10. 弥生文化3: 「魏志倭人伝」の講読																				
4. 縄文時代の知識(生活、生業、遺跡分布・文化圏、交流など)	11. 弥生文化4: 「魏志倭人伝」の講読、弥生から古墳時代へ																				
5. 縄文時代の住居(住居、住居構成員、社会組織、集落、村落、社会構造)	12. 古墳文化1																				
6. 縄文時代の信仰(信仰遺物・遺構、死霊信仰観、祭祀)	13. 古墳文化2、国家の成立へ																				
7. 縄文時代の葬墓制(墓、墓域、葬制、副葬、葬送規制)	14. 文化財学(文化財保護法、埋蔵文化財、世界遺産)																				
	15. 青森県の縄文文化と弥生時代の特徴、まとめ																				
評価方法	出席率(15点)、試験(85点)により、評価判断する。 試験には、教材、テキスト持込可。																				
教材・教科書	毎回、資料を配布する。 演習テキストは、『魏志倭人伝』(岩波文庫、約500円)を使うので、各自事前に学生協等で購入すること。																				
留意点	8-11 回目の講義の演習テキストに『魏志倭人伝』を使い、学生各人が講読するので、事前に読んでおくこと。 授業を漫然と受講するだけでなく、図書館を利用して関連図書(主に『日本生活文化史 1』、『図説日本文化の歴史 1』など)を積極的に読書し、県内外の博物館を利用して考古学の実物資料を見学すること。																				

共通専攻・共通関連科目

科目名	古文書学			担当教員	遠藤ゆり子																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B53002																		
概要	〔キーワード： 日本・中世・近世・歴史 〕 古文書と古文書学について学び、くずし字の中世・近世文書を読解する。																						
到達目標	*古文書の様式論を理解する。 *古い文献・文書を読解する力を身につける。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 古文書・古文書学とは何か</td> <td>10. 上申文書②</td> </tr> <tr> <td>2. 古文書の伝来</td> <td>11. 証書類</td> </tr> <tr> <td>3. 公家様文書①</td> <td>12. 津軽地方の文書①</td> </tr> <tr> <td>4. 公家様文書②</td> <td>13. 津軽地方の文書②</td> </tr> <tr> <td>5. 武家様文書①</td> <td>14. 津軽地方の文書③</td> </tr> <tr> <td>6. 武家様文書②</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 武家様文書③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 武家様文書④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 上申文書①</td> <td></td> </tr> </table>					1. 古文書・古文書学とは何か	10. 上申文書②	2. 古文書の伝来	11. 証書類	3. 公家様文書①	12. 津軽地方の文書①	4. 公家様文書②	13. 津軽地方の文書②	5. 武家様文書①	14. 津軽地方の文書③	6. 武家様文書②	15. まとめ	7. 武家様文書③		8. 武家様文書④		9. 上申文書①	
1. 古文書・古文書学とは何か	10. 上申文書②																						
2. 古文書の伝来	11. 証書類																						
3. 公家様文書①	12. 津軽地方の文書①																						
4. 公家様文書②	13. 津軽地方の文書②																						
5. 武家様文書①	14. 津軽地方の文書③																						
6. 武家様文書②	15. まとめ																						
7. 武家様文書③																							
8. 武家様文書④																							
9. 上申文書①																							
評価方法	報告 (50点)、期末試験 (50点)																						
教材・教科書	適宜、プリントなどを配布し、参考文献を紹介する。																						
留意点	*報告のための予習を必要とする。 *土曜日に授業を行うことがあります (詳細は第1回目の授業で説明します)。																						

共通専攻・共通関連科目

科目名	書道A			担当教員	小田桐 サキ																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード	B53003																		
概要	〔キーワード： 中国の書 〕 1.中国書道史を学ぶ。 2.古典を臨書する。																						
到達目標	「書」の鑑賞眼を高め、技法を身につける。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 殷～秦 (甲骨文、金文、石鼓文)</td> <td>10. 唐・孫過庭 (書譜)</td> </tr> <tr> <td>2. 漢 (篆書、隸書)</td> <td>11. 唐・顔真卿 (多宝塔碑)</td> </tr> <tr> <td>3. 晋・王羲之 (楷書)</td> <td>12. 唐・太宗 (温泉銘)</td> </tr> <tr> <td>4. 晋・王羲之 (行書・草書)</td> <td>13. 明・王鐸を中心として</td> </tr> <tr> <td>5. 北魏 (造像記)</td> <td>14. 清・金農を中心として</td> </tr> <tr> <td>6. 隋 (墓誌銘)</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 唐・欧陽詢 (九成宮醴泉銘)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 唐・虞世南 (孔子廟堂碑)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 唐・褚遂良 (雁塔聖教序)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 殷～秦 (甲骨文、金文、石鼓文)	10. 唐・孫過庭 (書譜)	2. 漢 (篆書、隸書)	11. 唐・顔真卿 (多宝塔碑)	3. 晋・王羲之 (楷書)	12. 唐・太宗 (温泉銘)	4. 晋・王羲之 (行書・草書)	13. 明・王鐸を中心として	5. 北魏 (造像記)	14. 清・金農を中心として	6. 隋 (墓誌銘)	15. まとめ	7. 唐・欧陽詢 (九成宮醴泉銘)		8. 唐・虞世南 (孔子廟堂碑)		9. 唐・褚遂良 (雁塔聖教序)	
1. 殷～秦 (甲骨文、金文、石鼓文)	10. 唐・孫過庭 (書譜)																						
2. 漢 (篆書、隸書)	11. 唐・顔真卿 (多宝塔碑)																						
3. 晋・王羲之 (楷書)	12. 唐・太宗 (温泉銘)																						
4. 晋・王羲之 (行書・草書)	13. 明・王鐸を中心として																						
5. 北魏 (造像記)	14. 清・金農を中心として																						
6. 隋 (墓誌銘)	15. まとめ																						
7. 唐・欧陽詢 (九成宮醴泉銘)																							
8. 唐・虞世南 (孔子廟堂碑)																							
9. 唐・褚遂良 (雁塔聖教序)																							
評価方法	1. 出席点 30点 2. 毎時間清書して提出 70点																						
教材・教科書	書法之美(二玄社)																						
留意点																							

共通専攻・共通関連科目

科目名	書道 B			担当教員	小田桐 サキ
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	1 単位・後期	科目コード	B53004
概要	〔キーワード：日本の書〕 1.日本書道史を学ぶ。 2.日本の漢字の書、仮名の書を臨書する。				
到達目標	仮名の知識を身につけ、その書法を会得する。				
授業の内容	1. 漢字(1) 光明皇后(染毅論) 10. 仮名(6) 古筆臨書(粘葉本和漢朗詠集) 2. 漢字(2) 最澄(久隔帖) 11. 仮名(7) 古筆臨書(高野切第一種) 3. 漢字(3) 空海(風信帖) 12. 仮名(8) 古筆臨書(関戸本古今集) 4. 漢字(4) 藤原行成(白氏詩卷) 13. 仮名(9) 古筆臨書(寸松庵色紙) 5. 仮名(1) 基礎(単体) 14. 仮名 作品づくり 6. 仮名(2) 基礎(変体仮名) 15. まとめ 7. 仮名(3) 基礎(連綿) 8. 仮名(4) 古筆臨書(十五番歌合) 9. 仮名(5) 古筆臨書(元暦校本万葉集)				
評価方法	1. 出席点 30 点 2. 毎時間清書して提出 70 点				
教材・教科書	書法之美(二玄社)				
留意点					

共通専攻・共通関連科目

科目名	海外研修 I (事前準備) 【2013 年度入学生】			担当教員	エドワード・フォサイス
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・通年	科目コード	B53067
概要	〔キーワード： Study Abroad Preparation 〕 This one-semester course will prepare students for study abroad in the United States with programs sponsored by HiroGaku to North Central College, Shenandoah University, or any other study abroad program.				
到達目標	This course is a video-based preparation course that will prepare students for their experience abroad in the United States.				
授業の内容	1. Course Orientation and Teacher Intro 10. At a restaurant; Cultural notebook draft due 2. Greetings and Cultural Differences 11. Trouble! 3. Sempai Presentation of SA programs 12. Shopping; Cultural notebook draft due 4. Touring the House 13. Saying Goodbye 5. At Dinner 14. Customs & Immigration Procedures 6. Fitting into American Home life 15. Cultural Notebook Presentation 7. Communicating with home stay family (Japanese version) 8. Meeting and talking with people After returning; Cultural Notebook 9. At a party; Cultural Notebook Requirements Presentation (American version)				
評価方法	Participation/Attendance – 50%; Cultural Notebook —50%				
教材・教科書	<i>American Homestay: Do's and Don'ts</i> Textbook [ISBN: 4-523-17360-5] AND Workbook [ISBN: 4-523-17378-8] both by Someya, Ferrasci & Murray (2001)				
留意点	Students are required to purchase new books—no sempai books allowed. Attendance is required and absences should be kept to a minimum in order to keep abreast of course content.				

共通専攻・共通関連科目

科目名	海外研修Ⅱ【2013年度入学生】			担当教員	エドワード・フォーサイ
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・通年	科目コード	B53068
概要	〔キーワード： Study Abroad Program〕 This one-semester course will prepare students for study abroad in the United States with programs sponsored by HiroGaku to North Central College, Shenandoah University, or any other study abroad program.				
到達目標	This course documents credits transferred from HiroGaku-approved Study Abroad programs in the United States or other accredited English-speaking universities. Students must successfully complete a study abroad program in order to receive credit for this course.				
授業の内容	The content for this course is based on the curriculum and syllabus of the study abroad university attended. Each program is unique and students must complete all parts of the program to receive credit.				
評価方法	Successful completion of study abroad programs will be reported by the host university.				
教材・教科書	Textbooks will be determined by each study abroad program's staff.				
留意点	HiroGaku students must compete 100% of study abroad program requirements unless given an exception by the host university due to special circumstances.				

共通専攻・共通関連科目

科目名	海外研修			担当教員	エドワード・フォーサイ
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	B53005
概要	<p>「海外研修Ⅰ【2013年度入学生】」</p> <p>「海外研修Ⅱ【2013年度入学生】」を参照してください。</p>				
到達目標					
授業の内容					
評価方法					
教材・教科書					
留意点					

共通専攻・共通関連科目

科目名	表現の技術 A(書く) 【2013 年度入学生】		担当教員	今村かほる																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード	B53069																	
概要	<p>[キーワード 母語を使いこなそう<書くこと編>]</p> <p>日常の学校生活や社会生活において、使える日本語<書くこと編>を目指す。 アカデミックライティング、プレゼンテーションや就職活動の準備に役立てる</p>																					
到達目標	母語である日本語を、効果的に・自由に使いこなすためのスキルを身につけ、実用に役立てる。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 講義の進め方・実技試験・評価について</td> <td>10. ポスターの書き方</td> </tr> <tr> <td>2. 日本語の正書法・文字・記号・ツール</td> <td>11. お知らせの書き方</td> </tr> <tr> <td>3. メモ・ノートの取り方</td> <td>12. アカデミックライティング</td> </tr> <tr> <td>4. 手紙の書き方</td> <td>13. アカデミックライティング</td> </tr> <tr> <td>5. 手紙の書き方</td> <td>14. アカデミックライティング</td> </tr> <tr> <td>6. メールの書き方(お知らせ・問い合わせ)</td> <td>15. マルチメディア時代の表記</td> </tr> <tr> <td>7. メールの書き方(お願い)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 履歴書の書き方</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 自己推薦文</td> <td></td> </tr> </table>				1. 講義の進め方・実技試験・評価について	10. ポスターの書き方	2. 日本語の正書法・文字・記号・ツール	11. お知らせの書き方	3. メモ・ノートの取り方	12. アカデミックライティング	4. 手紙の書き方	13. アカデミックライティング	5. 手紙の書き方	14. アカデミックライティング	6. メールの書き方(お知らせ・問い合わせ)	15. マルチメディア時代の表記	7. メールの書き方(お願い)		8. 履歴書の書き方		9. 自己推薦文	
1. 講義の進め方・実技試験・評価について	10. ポスターの書き方																					
2. 日本語の正書法・文字・記号・ツール	11. お知らせの書き方																					
3. メモ・ノートの取り方	12. アカデミックライティング																					
4. 手紙の書き方	13. アカデミックライティング																					
5. 手紙の書き方	14. アカデミックライティング																					
6. メールの書き方(お知らせ・問い合わせ)	15. マルチメディア時代の表記																					
7. メールの書き方(お願い)																						
8. 履歴書の書き方																						
9. 自己推薦文																						
評価方法	出席と提出物・授業中の課題																					
教材・教科書	山下暁美他 『スキルアップ文章表現』 1,500 円																					
留意点	講義のほか、実作を行う。																					

共通専攻・共通関連科目

科目名	表現の技術 A(文章)		担当教員	今村かほる	
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード	B53006
概要	<p>「表現の技術 A (書く) 【2013 年度入学生】」を参照してください。</p>				
到達目標					
授業の内容					
評価方法					
教材・教科書					
留意点					

共通専攻・共通関連科目

科目名	表現の技術 B(聞く話す)		担当教員	今村かほる																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード B53007																		
概要	〔キーワード 母語を使いこなそう<話すこと・聞くこと編>〕 日常の学校生活や社会生活において、使える日本語<音声編>を目指す。 プレゼンテーションや就職活動の準備に役立てる。																					
到達目標																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 講義の進め方・実技試験・評価について</td> <td>10. スピーチ</td> </tr> <tr> <td>2. 自己紹介</td> <td>11. 面接</td> </tr> <tr> <td>3. 問い合わせ</td> <td>12. 説明</td> </tr> <tr> <td>4. 接客</td> <td>13. ディベート</td> </tr> <tr> <td>5. 依頼</td> <td>14. 会議</td> </tr> <tr> <td>6. 宣伝</td> <td>15. プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>7. 誘い・断り・謝罪</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 案内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. インタビュー</td> <td></td> </tr> </table>				1. 講義の進め方・実技試験・評価について	10. スピーチ	2. 自己紹介	11. 面接	3. 問い合わせ	12. 説明	4. 接客	13. ディベート	5. 依頼	14. 会議	6. 宣伝	15. プレゼンテーション	7. 誘い・断り・謝罪		8. 案内		9. インタビュー	
1. 講義の進め方・実技試験・評価について	10. スピーチ																					
2. 自己紹介	11. 面接																					
3. 問い合わせ	12. 説明																					
4. 接客	13. ディベート																					
5. 依頼	14. 会議																					
6. 宣伝	15. プレゼンテーション																					
7. 誘い・断り・謝罪																						
8. 案内																						
9. インタビュー																						
評価方法	出席 20・発表 70・提出物 10																					
教材・教科書	『日本語を話すトレーニング』ひつじ書房																					
留意点	講義以外の実技が主体となる。																					

共通専攻・共通関連科目

科目名	データベースと解析の技術		担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード B53008																		
概要	〔キーワード リレーショナル・データベース、Access、Excel〕 データベースを実際に自分で構築し、データベースとはどういうものかを学ぶ。																					
到達目標	リレーショナル・データベースソフトである Access を使ってデータベースの構築法を学ぶ。表計算ソフト Excel のデータベース機能を学ぶ。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. データベースの知識 1</td> <td>10. Access によるデータベースの構築 8</td> </tr> <tr> <td>2. データベースの知識 2</td> <td>11. 簡易データベースとしての Excel 1</td> </tr> <tr> <td>3. Access によるデータベースの構築 1</td> <td>12. 簡易データベースとしての Excel 2</td> </tr> <tr> <td>4. Access によるデータベースの構築 2</td> <td>13. 簡易データベースとしての Excel 3</td> </tr> <tr> <td>5. Access によるデータベースの構築 3</td> <td>14. 簡易データベースとしての Excel 演習 1</td> </tr> <tr> <td>6. Access によるデータベースの構築 4</td> <td>15. 簡易データベースとしての Excel 演習 2</td> </tr> <tr> <td>7. Access によるデータベースの構築 5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. Access によるデータベースの構築 6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. Access によるデータベースの構築 7</td> <td></td> </tr> </table>				1. データベースの知識 1	10. Access によるデータベースの構築 8	2. データベースの知識 2	11. 簡易データベースとしての Excel 1	3. Access によるデータベースの構築 1	12. 簡易データベースとしての Excel 2	4. Access によるデータベースの構築 2	13. 簡易データベースとしての Excel 3	5. Access によるデータベースの構築 3	14. 簡易データベースとしての Excel 演習 1	6. Access によるデータベースの構築 4	15. 簡易データベースとしての Excel 演習 2	7. Access によるデータベースの構築 5		8. Access によるデータベースの構築 6		9. Access によるデータベースの構築 7	
1. データベースの知識 1	10. Access によるデータベースの構築 8																					
2. データベースの知識 2	11. 簡易データベースとしての Excel 1																					
3. Access によるデータベースの構築 1	12. 簡易データベースとしての Excel 2																					
4. Access によるデータベースの構築 2	13. 簡易データベースとしての Excel 3																					
5. Access によるデータベースの構築 3	14. 簡易データベースとしての Excel 演習 1																					
6. Access によるデータベースの構築 4	15. 簡易データベースとしての Excel 演習 2																					
7. Access によるデータベースの構築 5																						
8. Access によるデータベースの構築 6																						
9. Access によるデータベースの構築 7																						
評価方法	レポート(45%)、出席状況(55%)																					
教材・教科書	プリント配布																					
留意点	定員：40名（履修者の調整をすることがあるので掲示に注意）																					

共通専攻・共通関連科目

科目名	データ解析演習			担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	B53032																		
概要	〔キーワード Excel、データ処理〕 表計算ソフト(Excel)の使用法を中心に、パソコンによるデータ処理の方法を、LL教室で実際に操作しながら学ぶ。																						
到達目標	Microsoft Office Specialist 試験の Excel スペシャリスト(一般)レベルに合格できる程度の操作能力を身につける。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス+Windows・Excel の起動終了</td> <td>10. グラフ(2)</td> </tr> <tr> <td>2. データの入力</td> <td>11. 課題第2回</td> </tr> <tr> <td>3. Excel 入門</td> <td>12. グラフ(2)</td> </tr> <tr> <td>4. Excel 入門、ワークシートの活用(1)</td> <td>13. データベース</td> </tr> <tr> <td>5. ワークシートの活用(1)</td> <td>14. データベース、Excel の応用</td> </tr> <tr> <td>6. ワークシートの活用(2)</td> <td>15. 課題第3回</td> </tr> <tr> <td>7. 課題第1回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. ワークシートの活用(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. グラフ(1)</td> <td></td> </tr> </table>					1. ガイダンス+Windows・Excel の起動終了	10. グラフ(2)	2. データの入力	11. 課題第2回	3. Excel 入門	12. グラフ(2)	4. Excel 入門、ワークシートの活用(1)	13. データベース	5. ワークシートの活用(1)	14. データベース、Excel の応用	6. ワークシートの活用(2)	15. 課題第3回	7. 課題第1回		8. ワークシートの活用(2)		9. グラフ(1)	
1. ガイダンス+Windows・Excel の起動終了	10. グラフ(2)																						
2. データの入力	11. 課題第2回																						
3. Excel 入門	12. グラフ(2)																						
4. Excel 入門、ワークシートの活用(1)	13. データベース																						
5. ワークシートの活用(1)	14. データベース、Excel の応用																						
6. ワークシートの活用(2)	15. 課題第3回																						
7. 課題第1回																							
8. ワークシートの活用(2)																							
9. グラフ(1)																							
評価方法	出席状況(55%)、課題(45%)																						
教材・教科書	『30時間でマスター Excel 2010』実教出版 (本体 857 円+税)																						
留意点	定員：35名 (履修者の調整をすることがあるので掲示に注意) 上記教科書を購入すること。																						

共通専攻・共通関連科目

科目名	ギリシャ語			担当教員	鎌田学																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	B53009																		
概要	〔キーワード：古典ギリシャの言語と文化〕 西欧近代言語の一つの源とされる古典ギリシャ語の文法を学ぶ。																						
到達目標	ギリシャ語で書かれた文の意味を理解すること。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス。字母、音節</td> <td>10. 前置詞</td> </tr> <tr> <td>2. 動詞変化</td> <td>11. アオリスト直説法能動相</td> </tr> <tr> <td>3. 名詞変化</td> <td>12. 現在完了と過去完了直説法能動相</td> </tr> <tr> <td>4. 名詞変化②</td> <td>13. 指示代名詞と強意代名詞</td> </tr> <tr> <td>5. 未来直説法能動相</td> <td>14. 直説法能動相本時称の人称語尾</td> </tr> <tr> <td>6. 名詞変化</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 未完了過去直説法能動相</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 名詞変化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 形容詞</td> <td></td> </tr> </table>					1. ガイダンス。字母、音節	10. 前置詞	2. 動詞変化	11. アオリスト直説法能動相	3. 名詞変化	12. 現在完了と過去完了直説法能動相	4. 名詞変化②	13. 指示代名詞と強意代名詞	5. 未来直説法能動相	14. 直説法能動相本時称の人称語尾	6. 名詞変化	15. まとめ	7. 未完了過去直説法能動相		8. 名詞変化		9. 形容詞	
1. ガイダンス。字母、音節	10. 前置詞																						
2. 動詞変化	11. アオリスト直説法能動相																						
3. 名詞変化	12. 現在完了と過去完了直説法能動相																						
4. 名詞変化②	13. 指示代名詞と強意代名詞																						
5. 未来直説法能動相	14. 直説法能動相本時称の人称語尾																						
6. 名詞変化	15. まとめ																						
7. 未完了過去直説法能動相																							
8. 名詞変化																							
9. 形容詞																							
評価方法	出席 (50%)、小テストおよび期末試験 (50%)																						
教材・教科書	田中美知太郎・松本千秋『ギリシア語入門 改訂版』(岩波書店)																						
留意点	一回でも休むと分からなくなる。宿題は必ずやること。																						

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話 I A(a)			担当教員	エドワード・フォーサイ																
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード	B53011																
概要	〔キーワード: English Conversation I] The first term will further practice situations discussed in the Eigo I A course. Upon completion of the course, students will be able to introduce themselves, tell about their family and discuss their hobbies in English.																				
到達目標	English Conversation I is a situational, dialogue-based course for beginning students of English. Each lesson teaches modern English vocabulary; each student will have many chances to practice all four skills (listening, speaking, writing, and reading) while learning how to speak authentic American English. This course is designed to increase one's communication ability.																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Course Orientation</td> <td>9. A date to remember</td> </tr> <tr> <td>2. Hello everybody!</td> <td>10. Food you like!</td> </tr> <tr> <td>3. Meeting people</td> <td>11. Looking good!</td> </tr> <tr> <td>4. The world of work</td> <td>12. Life's an adventure!</td> </tr> <tr> <td>5. Take it easy!</td> <td>13. Have you ever?</td> </tr> <tr> <td>6. Where do you live?</td> <td>14. Proficiency check</td> </tr> <tr> <td>7. Can you speak English?</td> <td>15. Review and American culture</td> </tr> <tr> <td>8. Then and now</td> <td></td> </tr> </table>					1. Course Orientation	9. A date to remember	2. Hello everybody!	10. Food you like!	3. Meeting people	11. Looking good!	4. The world of work	12. Life's an adventure!	5. Take it easy!	13. Have you ever?	6. Where do you live?	14. Proficiency check	7. Can you speak English?	15. Review and American culture	8. Then and now	
1. Course Orientation	9. A date to remember																				
2. Hello everybody!	10. Food you like!																				
3. Meeting people	11. Looking good!																				
4. The world of work	12. Life's an adventure!																				
5. Take it easy!	13. Have you ever?																				
6. Where do you live?	14. Proficiency check																				
7. Can you speak English?	15. Review and American culture																				
8. Then and now																					
評価方法	Homework / Attendance / Class Projects: 50%; Speaking Exams: 50%																				
教材・教科書	<i>American Headway Level 1 Student Book w/ MultiROM (ISBN: 978-0-19-472945-1)</i>																				
留意点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students can use the books they purchase for Eigo I for this class as well – do NOT purchase 2 copies of the same book.																				

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話 I A(b)			担当教員	アルヴァル・ヒューゴソン																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード	B53013																		
概要	〔キーワード: English Conversation] The first semester will cover basic English conversations about various topics and situations. This course will focus on Listening and Speaking.																						
到達目標	To teach students basic-level English for everyday use. Activities will give students the vocabulary and grammar skills for basic communication in English.																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>10. A date to remember</td> </tr> <tr> <td>2. Hello everybody!</td> <td>11. Food you like!</td> </tr> <tr> <td>3. Meeting people</td> <td>12. Looking good!</td> </tr> <tr> <td>4. The world of work</td> <td>13. Life's an adventure!</td> </tr> <tr> <td>5. Take it easy!</td> <td>14. Have you ever?</td> </tr> <tr> <td>6. Where do you live?</td> <td>15. Review and Course Evaluation</td> </tr> <tr> <td>7. Can you speak English?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. Self-Introductions (Mid-term)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. Then and now</td> <td></td> </tr> </table>					1. Introduction	10. A date to remember	2. Hello everybody!	11. Food you like!	3. Meeting people	12. Looking good!	4. The world of work	13. Life's an adventure!	5. Take it easy!	14. Have you ever?	6. Where do you live?	15. Review and Course Evaluation	7. Can you speak English?		8. Self-Introductions (Mid-term)		9. Then and now	
1. Introduction	10. A date to remember																						
2. Hello everybody!	11. Food you like!																						
3. Meeting people	12. Looking good!																						
4. The world of work	13. Life's an adventure!																						
5. Take it easy!	14. Have you ever?																						
6. Where do you live?	15. Review and Course Evaluation																						
7. Can you speak English?																							
8. Self-Introductions (Mid-term)																							
9. Then and now																							
評価方法	Attendance, Participation, Homework: 50%; Mid-term and Final Test 50%																						
教材・教科書	<i>American Headway Level 1 Student Book w/ MultiROM (ISBN: 978-0-19-472945-1)</i> and <i>American Headway Level 1 Workbook (ISBN: 978-0-19-472951-2)</i>																						
留意点	Students should be prepared to communicate in English and active participation is expected.																						

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話 I B(a)		担当教員	エドワード・フォーサイ																
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード B53012																
概要	〔キーワード: English Conversation I] The second term will further practice situations discussed in the Eigo I B course. Upon completion of the course, students will be able to discuss likes and dislikes, tell about past events and hold everyday conversations in English.																			
到達目標	English Conversation I is a situational, dialogue-based course for beginning students of English. Each lesson teaches modern English vocabulary; each student will have many chances to practice all four skills (listening, speaking, writing, and reading) while learning how to speak authentic American English. This course is designed to increase one's communication ability.																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Course Orientation</td> <td>9. Dos and don'ts</td> </tr> <tr> <td>2. Getting to know you</td> <td>10. Going places</td> </tr> <tr> <td>3. The way we live</td> <td>11. Things that changed the world</td> </tr> <tr> <td>4. What happened next?</td> <td>12. What if...?</td> </tr> <tr> <td>5. The marketplace</td> <td>13. Trying your best</td> </tr> <tr> <td>6. What do you want to do?</td> <td>14. Proficiency check</td> </tr> <tr> <td>7. Places and things</td> <td>15. Review and American culture</td> </tr> <tr> <td>8. Fame!</td> <td></td> </tr> </table>				1. Course Orientation	9. Dos and don'ts	2. Getting to know you	10. Going places	3. The way we live	11. Things that changed the world	4. What happened next?	12. What if...?	5. The marketplace	13. Trying your best	6. What do you want to do?	14. Proficiency check	7. Places and things	15. Review and American culture	8. Fame!	
1. Course Orientation	9. Dos and don'ts																			
2. Getting to know you	10. Going places																			
3. The way we live	11. Things that changed the world																			
4. What happened next?	12. What if...?																			
5. The marketplace	13. Trying your best																			
6. What do you want to do?	14. Proficiency check																			
7. Places and things	15. Review and American culture																			
8. Fame!																				
評価方法	Homework / Attendance / Class Projects: 50%; Speaking Exams: 50%																			
教材・教科書	<i>American Headway Level 2 Student Book w/ MultiROM (ISBN: 978-0-19-472964-2)</i>																			
留意点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students can use the books they purchase for Eigo I for this class as well – do NOT purchase 2 copies of the same book.																			

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話 I B(b)		担当教員	アルヴァル・ヒューゴソン																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード B53014																		
概要	〔キーワード: English Conversation] The second semester will cover basic English conversations about various topics and situations. This course will focus on Listening and Speaking.																					
到達目標	To teach students basic-level English for everyday use. Activities will give students the vocabulary and grammar skills for basic communication in English.																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>10. Dos and don'ts</td> </tr> <tr> <td>2. Getting to know you</td> <td>11. Going places</td> </tr> <tr> <td>3. The way we live</td> <td>12. Things that changed the world</td> </tr> <tr> <td>4. What happened next?</td> <td>13. What if...?</td> </tr> <tr> <td>5. The marketplace</td> <td>14. Trying your best</td> </tr> <tr> <td>6. What do you want to do?</td> <td>15. Review and Course Evaluation</td> </tr> <tr> <td>7. Self-Introductions</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. Places and things</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. Fame!</td> <td></td> </tr> </table>				1. Introduction	10. Dos and don'ts	2. Getting to know you	11. Going places	3. The way we live	12. Things that changed the world	4. What happened next?	13. What if...?	5. The marketplace	14. Trying your best	6. What do you want to do?	15. Review and Course Evaluation	7. Self-Introductions		8. Places and things		9. Fame!	
1. Introduction	10. Dos and don'ts																					
2. Getting to know you	11. Going places																					
3. The way we live	12. Things that changed the world																					
4. What happened next?	13. What if...?																					
5. The marketplace	14. Trying your best																					
6. What do you want to do?	15. Review and Course Evaluation																					
7. Self-Introductions																						
8. Places and things																						
9. Fame!																						
評価方法	Attendance, Participation, Homework: 50%; Mid-term and Final Test 50%																					
教材・教科書	<i>American Headway Level 2 Student Book w/ MultiROM (ISBN: 978-0-19-472964-2)</i> and <i>American Headway Level 2 Workbook (ISBN: 978-0-19-472785-3)</i>																					
留意点	Students should be prepared to communicate in English and active participation is expected.																					

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話IIA(a)		担当教員	エドワード・フォーサイ																
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード B53015																
概要	〔キーワード： English Conversation II] The first term will further practice situations discussed in the Eisakubun IIA course. Upon completion of the course, students will be able to discuss likes and dislikes, tell about past events and hold everyday conversations in English.																			
到達目標	English Conversation II is a situational, dialogue-based course for beginning students of English. Each lesson teaches modern English vocabulary; each student will have many chances to practice all four skills (listening, speaking, writing, and reading) while learning how to speak authentic American English. This course is designed to increase one's communication ability.																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Course Orientation</td> <td>9. Dos and don'ts</td> </tr> <tr> <td>2. Getting to know you</td> <td>10. Going places</td> </tr> <tr> <td>3. The way we live</td> <td>11. Things that changed the world</td> </tr> <tr> <td>4. What happened next?</td> <td>12. What if...?</td> </tr> <tr> <td>5. The marketplace</td> <td>13. Trying your best</td> </tr> <tr> <td>6. What do you want to do?</td> <td>14. Proficiency check</td> </tr> <tr> <td>7. Places and things</td> <td>15. Review and American culture</td> </tr> <tr> <td>8. Fame!</td> <td></td> </tr> </table>				1. Course Orientation	9. Dos and don'ts	2. Getting to know you	10. Going places	3. The way we live	11. Things that changed the world	4. What happened next?	12. What if...?	5. The marketplace	13. Trying your best	6. What do you want to do?	14. Proficiency check	7. Places and things	15. Review and American culture	8. Fame!	
1. Course Orientation	9. Dos and don'ts																			
2. Getting to know you	10. Going places																			
3. The way we live	11. Things that changed the world																			
4. What happened next?	12. What if...?																			
5. The marketplace	13. Trying your best																			
6. What do you want to do?	14. Proficiency check																			
7. Places and things	15. Review and American culture																			
8. Fame!																				
評価方法	Homework / Attendance / Class Projects: 50%; Speaking Exams: 50%																			
教材・教科書	<i>American Headway Level 2 Student Book w/ MultiROM (ISBN: 978-0-19-472964-2)</i>																			
留意点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students can use the books they purchase for Eigo II for this class as well – do NOT purchase 2 copies of the same book.																			

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話IIA(b)		担当教員	エドワード・フォーサイ																
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード B53034																
概要	〔キーワード： English Conversation II] The first term will further practice situations discussed in the Eisakubun IIA course. Upon completion of the course, students will be able to discuss likes and dislikes, tell about past events and hold everyday conversations in English.																			
到達目標	English Conversation II is a situational, dialogue-based course for beginning students of English. Each lesson teaches modern English vocabulary; each student will have many chances to practice all four skills (listening, speaking, writing, and reading) while learning how to speak authentic American English. This course is designed to increase one's communication ability.																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>9. Course Orientation</td> <td>16. Dos and don'ts</td> </tr> <tr> <td>10. Getting to know you</td> <td>17. Going places</td> </tr> <tr> <td>11. The way we live</td> <td>18. Things that changed the world</td> </tr> <tr> <td>12. What happened next?</td> <td>19. What if...?</td> </tr> <tr> <td>13. The marketplace</td> <td>20. Trying your best</td> </tr> <tr> <td>14. What do you want to do?</td> <td>21. Proficiency check</td> </tr> <tr> <td>15. Places and things</td> <td>22. Review and American culture</td> </tr> <tr> <td>16. Fame!</td> <td></td> </tr> </table>				9. Course Orientation	16. Dos and don'ts	10. Getting to know you	17. Going places	11. The way we live	18. Things that changed the world	12. What happened next?	19. What if...?	13. The marketplace	20. Trying your best	14. What do you want to do?	21. Proficiency check	15. Places and things	22. Review and American culture	16. Fame!	
9. Course Orientation	16. Dos and don'ts																			
10. Getting to know you	17. Going places																			
11. The way we live	18. Things that changed the world																			
12. What happened next?	19. What if...?																			
13. The marketplace	20. Trying your best																			
14. What do you want to do?	21. Proficiency check																			
15. Places and things	22. Review and American culture																			
16. Fame!																				
評価方法	Homework / Attendance / Class Projects: 50%; Speaking Exams: 50%																			
教材・教科書	<i>American Headway Level 2 Student Book w/ MultiROM (ISBN: 978-0-19-472964-2)</i>																			
留意点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students can use the books they purchase for Eigo II for this class as well – do NOT purchase 2 copies of the same book.																			

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話ⅡB(a)		担当教員	エドワード・フォーサイ																
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード B53016																
概要	〔キーワード： English Conversation II] The second term will further practice situations discussed in the Eisakubun II B course. Upon completion of the course, students will be able to discuss likes and dislikes, tell about past events and hold everyday conversations in English.																			
到達目標	English Conversation II is a situational, dialogue-based course for beginning students of English. Each lesson teaches modern English vocabulary; each student will have many chances to practice all four skills (listening, speaking, writing, and reading) while learning how to speak authentic American English. This course is designed to increase one's communication ability.																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Course Orientation</td> <td>9. No fear!</td> </tr> <tr> <td>2. A world of difference</td> <td>10. It depends how you look at it</td> </tr> <tr> <td>3. The work week</td> <td>11. All things high tech</td> </tr> <tr> <td>4. Good times, bad times</td> <td>12. Seeing is believing</td> </tr> <tr> <td>5. Getting it right</td> <td>13. Telling it like it is</td> </tr> <tr> <td>6. Our changing world</td> <td>14. Proficiency check</td> </tr> <tr> <td>7. What matters to me</td> <td>15. Review and American culture</td> </tr> <tr> <td>8. Passions and fashions</td> <td></td> </tr> </table>				1. Course Orientation	9. No fear!	2. A world of difference	10. It depends how you look at it	3. The work week	11. All things high tech	4. Good times, bad times	12. Seeing is believing	5. Getting it right	13. Telling it like it is	6. Our changing world	14. Proficiency check	7. What matters to me	15. Review and American culture	8. Passions and fashions	
1. Course Orientation	9. No fear!																			
2. A world of difference	10. It depends how you look at it																			
3. The work week	11. All things high tech																			
4. Good times, bad times	12. Seeing is believing																			
5. Getting it right	13. Telling it like it is																			
6. Our changing world	14. Proficiency check																			
7. What matters to me	15. Review and American culture																			
8. Passions and fashions																				
評価方法	Homework / Attendance / Class Projects: 50%; Speaking Exams: 50%																			
教材・教科書	<i>American Headway Level 3 Student Book w/ MultiROM (ISBN: 978-0-19-472983-3)</i>																			
留意点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students can use the books they purchase for Eigo II for this class as well – do NOT purchase 2 copies of the same book.																			

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話ⅡB(b)		担当教員	エドワード・フォーサイ																					
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード B53035																					
概要	〔キーワード： English Conversation II] The second term will further practice situations discussed in the Eisakubun II B course. Upon completion of the course, students will be able to discuss likes and dislikes, tell about past events and hold everyday conversations in English.																								
到達目標	English Conversation II is a situational, dialogue-based course for beginning students of English. Each lesson teaches modern English vocabulary; each student will have many chances to practice all four skills (listening, speaking, writing, and reading) while learning how to speak authentic American English. This course is designed to increase one's communication ability.																								
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Course Orientation</td> <td>A world of difference</td> <td>8. No fear!</td> </tr> <tr> <td>2. The work week</td> <td></td> <td>9. It depends how you look at it</td> </tr> <tr> <td>3. Good times, bad times</td> <td></td> <td>10. All things high tech</td> </tr> <tr> <td>4. Getting it right</td> <td></td> <td>11. Seeing is believing</td> </tr> <tr> <td>5. Our changing world</td> <td></td> <td>12. Telling it like it is</td> </tr> <tr> <td>6. What matters to me</td> <td></td> <td>13. Proficiency check</td> </tr> <tr> <td>7. Passions and fashions</td> <td></td> <td>14. Review and American culture</td> </tr> </table>				1. Course Orientation	A world of difference	8. No fear!	2. The work week		9. It depends how you look at it	3. Good times, bad times		10. All things high tech	4. Getting it right		11. Seeing is believing	5. Our changing world		12. Telling it like it is	6. What matters to me		13. Proficiency check	7. Passions and fashions		14. Review and American culture
1. Course Orientation	A world of difference	8. No fear!																							
2. The work week		9. It depends how you look at it																							
3. Good times, bad times		10. All things high tech																							
4. Getting it right		11. Seeing is believing																							
5. Our changing world		12. Telling it like it is																							
6. What matters to me		13. Proficiency check																							
7. Passions and fashions		14. Review and American culture																							
評価方法	Homework / Attendance / Class Projects: 50%; Speaking Exams: 50%																								
教材・教科書	<i>American Headway Level 3 Student Book w/ MultiROM (ISBN: 978-0-19-472983-3)</i>																								
留意点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students can use the books they purchase for Eigo II for this class as well – do NOT purchase 2 copies of the same book.																								

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話ⅢA(a)		担当教員	エドワード・フォーサイ																
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード B53017																
概要	〔キーワード： English Conversation III 〕 English III is a situational, dialogue-based course for intermediate students of English as a Foreign Language. Emphasis will be placed upon business English and skills that will be beneficial in the workplace after graduation.																			
到達目標	The first term will cover situations in three units that include: Making Introductions, Taking and Giving Messages, and Going on an International Trip. The student will be able to converse confidently about these topics with native speakers of English.																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Course Orientation and Teacher Introduction</td> <td>9. Lesson 7: Checking in at the Airport</td> </tr> <tr> <td>2. Lesson 1: Introducing yourself</td> <td>10. Lesson 8: Immigration and Customs</td> </tr> <tr> <td>3. Lesson 2: Making a Self-Introduction</td> <td>11. U.S. Customs and Immigration Processes</td> </tr> <tr> <td>4. Lesson 3: Introducing Business Guests</td> <td>12. American Culture Lesson</td> </tr> <tr> <td>5. Lesson 4: Leaving a Message on a Voice Mail</td> <td>13. Lesson 9: Settling into Your Hotel</td> </tr> <tr> <td>6. Lesson 5: Leaving a Message by Phone</td> <td>14. Student Speaking Exams</td> </tr> <tr> <td>7. Lesson 6: Taking a Message</td> <td>15. Course Review & American Culture</td> </tr> <tr> <td>8. Making Travel Plans in English</td> <td></td> </tr> </table>				1. Course Orientation and Teacher Introduction	9. Lesson 7: Checking in at the Airport	2. Lesson 1: Introducing yourself	10. Lesson 8: Immigration and Customs	3. Lesson 2: Making a Self-Introduction	11. U.S. Customs and Immigration Processes	4. Lesson 3: Introducing Business Guests	12. American Culture Lesson	5. Lesson 4: Leaving a Message on a Voice Mail	13. Lesson 9: Settling into Your Hotel	6. Lesson 5: Leaving a Message by Phone	14. Student Speaking Exams	7. Lesson 6: Taking a Message	15. Course Review & American Culture	8. Making Travel Plans in English	
1. Course Orientation and Teacher Introduction	9. Lesson 7: Checking in at the Airport																			
2. Lesson 1: Introducing yourself	10. Lesson 8: Immigration and Customs																			
3. Lesson 2: Making a Self-Introduction	11. U.S. Customs and Immigration Processes																			
4. Lesson 3: Introducing Business Guests	12. American Culture Lesson																			
5. Lesson 4: Leaving a Message on a Voice Mail	13. Lesson 9: Settling into Your Hotel																			
6. Lesson 5: Leaving a Message by Phone	14. Student Speaking Exams																			
7. Lesson 6: Taking a Message	15. Course Review & American Culture																			
8. Making Travel Plans in English																				
評価方法	Homework / Attendance / Class Projects: 50%; Speaking Exam: 50%.																			
教材・教科書	<i>Business as Usual: An Integrated Approach to Learning English</i> , Todd Jay Leonard (2003) [ISBN: 4-7919-5102-6]																			
留意点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students are required to purchase new books; the textbook for this class is a “workbook” and students must do the work in class, individually—no <i>sempai</i> books allowed.																			

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話ⅢA(b)		担当教員	エドワード・フォーサイ																
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード B53038																
概要	〔キーワード： English Conversation III 〕 English III is a situational, dialogue-based course for intermediate students of English as a Foreign Language. Emphasis will be placed upon business English and skills that will be beneficial in the workplace after graduation.																			
到達目標	The first term will cover situations in three units that include: Making Introductions, Taking and Giving Messages, and Going on an International Trip. The student will be able to converse confidently about these topics with native speakers of English.																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Course Orientation and Teacher Introduction</td> <td>9. Lesson 7: Checking in at the Airport</td> </tr> <tr> <td>2. Lesson 1: Introducing yourself</td> <td>10. Lesson 8: Immigration and Customs</td> </tr> <tr> <td>3. Lesson 2: Making a Self-Introduction</td> <td>11. U.S. Customs and Immigration Processes</td> </tr> <tr> <td>4. Lesson 3: Introducing Business Guests</td> <td>12. American Culture Lesson</td> </tr> <tr> <td>5. Lesson 4: Leaving a Message on a Voice Mail</td> <td>13. Lesson 9: Settling into Your Hotel</td> </tr> <tr> <td>6. Lesson 5: Leaving a Message by Phone</td> <td>14. Student Speaking Exams</td> </tr> <tr> <td>7. Lesson 6: Taking a Message</td> <td>15. Course Review & American Culture</td> </tr> <tr> <td>8. Making Travel Plans in English</td> <td></td> </tr> </table>				1. Course Orientation and Teacher Introduction	9. Lesson 7: Checking in at the Airport	2. Lesson 1: Introducing yourself	10. Lesson 8: Immigration and Customs	3. Lesson 2: Making a Self-Introduction	11. U.S. Customs and Immigration Processes	4. Lesson 3: Introducing Business Guests	12. American Culture Lesson	5. Lesson 4: Leaving a Message on a Voice Mail	13. Lesson 9: Settling into Your Hotel	6. Lesson 5: Leaving a Message by Phone	14. Student Speaking Exams	7. Lesson 6: Taking a Message	15. Course Review & American Culture	8. Making Travel Plans in English	
1. Course Orientation and Teacher Introduction	9. Lesson 7: Checking in at the Airport																			
2. Lesson 1: Introducing yourself	10. Lesson 8: Immigration and Customs																			
3. Lesson 2: Making a Self-Introduction	11. U.S. Customs and Immigration Processes																			
4. Lesson 3: Introducing Business Guests	12. American Culture Lesson																			
5. Lesson 4: Leaving a Message on a Voice Mail	13. Lesson 9: Settling into Your Hotel																			
6. Lesson 5: Leaving a Message by Phone	14. Student Speaking Exams																			
7. Lesson 6: Taking a Message	15. Course Review & American Culture																			
8. Making Travel Plans in English																				
評価方法	Homework / Attendance / Class Projects: 50%; Speaking Exam: 50%.																			
教材・教科書	<i>Business as Usual: An Integrated Approach to Learning English</i> , Todd Jay Leonard (2003) [ISBN: 4-7919-5102-6]																			
留意点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students are required to purchase new books; the textbook for this class is a “workbook” and students must do the work in class, individually—no <i>sempai</i> books allowed.																			

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話ⅢB(a)		担当教員	エドワード・フォーサイ																
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード B53018																
概要	〔キーワード： English Conversation III 〕 English III is a situational, dialogue-based course for intermediate students of English as a Foreign Language. Emphasis will be placed upon business English and skills that will be beneficial in the workplace after graduation.																			
到達目標	The second term will cover situations that include: Everyday Business Dealings, Business in the 21st Century, and Business Project Presentations. Student will be able to handle basic business situations, as well as business projects and presentations in English.																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Course Orientation and Teacher Introduction</td> <td>9. Presentation Skills - Introductions</td> </tr> <tr> <td>2. Lesson 10: Conducting a Business Meeting</td> <td>10. Presentation Practice - Body</td> </tr> <tr> <td>3. Lesson 11: Making Appointments</td> <td>11. Presentation Practice - Conclusion</td> </tr> <tr> <td>4. Lesson 12: Making Small-talk</td> <td>12. Project 1st Draft</td> </tr> <tr> <td>5. Lesson 13/14: E-Mails</td> <td>13. Presentation Practice</td> </tr> <tr> <td>6. Lesson 15: Entertaining Business Associates</td> <td>14. Student Project Presentations</td> </tr> <tr> <td>7. Business Project Overview</td> <td>15. Student Project Presentations & Review</td> </tr> <tr> <td>8. Technology Basics</td> <td></td> </tr> </table>				1. Course Orientation and Teacher Introduction	9. Presentation Skills - Introductions	2. Lesson 10: Conducting a Business Meeting	10. Presentation Practice - Body	3. Lesson 11: Making Appointments	11. Presentation Practice - Conclusion	4. Lesson 12: Making Small-talk	12. Project 1st Draft	5. Lesson 13/14: E-Mails	13. Presentation Practice	6. Lesson 15: Entertaining Business Associates	14. Student Project Presentations	7. Business Project Overview	15. Student Project Presentations & Review	8. Technology Basics	
1. Course Orientation and Teacher Introduction	9. Presentation Skills - Introductions																			
2. Lesson 10: Conducting a Business Meeting	10. Presentation Practice - Body																			
3. Lesson 11: Making Appointments	11. Presentation Practice - Conclusion																			
4. Lesson 12: Making Small-talk	12. Project 1st Draft																			
5. Lesson 13/14: E-Mails	13. Presentation Practice																			
6. Lesson 15: Entertaining Business Associates	14. Student Project Presentations																			
7. Business Project Overview	15. Student Project Presentations & Review																			
8. Technology Basics																				
評価方法	Homework / Attendance: 30%; Business Project: 30%; Oral Business Presentation: 40%																			
教材・教科書	<i>Business as Usual: An Integrated Approach to Learning English</i> , Todd Jay Leonard (2003) [ISBN: 4-7919-5102-6]; AND <i>Speaking of Speech</i> , Harrington & LeBeau (2009) [ISBN: 978-4-7773-6271-4]																			
留意点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students are required to purchase new books; the textbook for this class is a “workbook” and students must do the work in class, individually—no <i>sempai</i> books allowed.																			

共通専攻・共通関連科目

科目名	英会話ⅢB(b)		担当教員	エドワード・フォーサイ																
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード B53039																
概要	〔キーワード： English Conversation III 〕 English III is a situational, dialogue-based course for intermediate students of English as a Foreign Language. Emphasis will be placed upon business English and skills that will be beneficial in the workplace after graduation.																			
到達目標	The second term will cover situations that include: Everyday Business Dealings, Business in the 21st Century, and Business Project Presentations. Student will be able to handle basic business situations, as well as business projects and presentations in English.																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Course Orientation and Teacher Introduction</td> <td>9. Presentation Skills - Introductions</td> </tr> <tr> <td>2. Lesson 10: Conducting a Business Meeting</td> <td>10. Presentation Practice - Body</td> </tr> <tr> <td>3. Lesson 11: Making Appointments</td> <td>11. Presentation Practice - Conclusion</td> </tr> <tr> <td>4. Lesson 12: Making Small-talk</td> <td>12. Project 1st Draft</td> </tr> <tr> <td>5. Lesson 13/14: E-Mails</td> <td>13. Presentation Practice</td> </tr> <tr> <td>6. Lesson 15: Entertaining Business Associates</td> <td>14. Student Project Presentations</td> </tr> <tr> <td>7. Business Project Overview</td> <td>15. Student Project Presentations & Review</td> </tr> <tr> <td>8. Technology Basics</td> <td></td> </tr> </table>				1. Course Orientation and Teacher Introduction	9. Presentation Skills - Introductions	2. Lesson 10: Conducting a Business Meeting	10. Presentation Practice - Body	3. Lesson 11: Making Appointments	11. Presentation Practice - Conclusion	4. Lesson 12: Making Small-talk	12. Project 1st Draft	5. Lesson 13/14: E-Mails	13. Presentation Practice	6. Lesson 15: Entertaining Business Associates	14. Student Project Presentations	7. Business Project Overview	15. Student Project Presentations & Review	8. Technology Basics	
1. Course Orientation and Teacher Introduction	9. Presentation Skills - Introductions																			
2. Lesson 10: Conducting a Business Meeting	10. Presentation Practice - Body																			
3. Lesson 11: Making Appointments	11. Presentation Practice - Conclusion																			
4. Lesson 12: Making Small-talk	12. Project 1st Draft																			
5. Lesson 13/14: E-Mails	13. Presentation Practice																			
6. Lesson 15: Entertaining Business Associates	14. Student Project Presentations																			
7. Business Project Overview	15. Student Project Presentations & Review																			
8. Technology Basics																				
評価方法	Homework / Attendance: 30%; Business Project: 30%; Oral Business Presentation: 40%																			
教材・教科書	<i>Business as Usual: An Integrated Approach to Learning English</i> , Todd Jay Leonard (2003) [ISBN: 4-7919-5102-6]; AND <i>Speaking of Speech</i> , Harrington & LeBeau (2009) [ISBN: 978-4-7773-6271-4]																			
留意点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students are required to purchase new books; the textbook for this class is a “workbook” and students must do the work in class, individually—no <i>sempai</i> books allowed.																			

共通専攻・共通関連科目

科目名	英作文 I A			担当教員	佐藤和博																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード	B53019																		
概要	〔キーワード： Writing about yourself 〕 自分自身のこと、自分の身の周りのことをトピックにして英語で文章を書いてみる。																						
到達目標	複数のパラグラフで構成される英文を書けるようにする。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 英語と日本語の違いについて</td> <td>10. Writing about your day</td> </tr> <tr> <td>2. 英語の論理について</td> <td>11. Writing a message on a card</td> </tr> <tr> <td>3. パラグラフとは</td> <td>12. Writing descriptions</td> </tr> <tr> <td>4. Introducing yourself</td> <td>13. Filling out an order form</td> </tr> <tr> <td>5. Filling out a form</td> <td>14. Writing about places</td> </tr> <tr> <td>6. Writing about your family</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. An E-mail message</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. Writing about your activities</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. Notes for a message board</td> <td></td> </tr> </table>					1. 英語と日本語の違いについて	10. Writing about your day	2. 英語の論理について	11. Writing a message on a card	3. パラグラフとは	12. Writing descriptions	4. Introducing yourself	13. Filling out an order form	5. Filling out a form	14. Writing about places	6. Writing about your family	15. まとめ	7. An E-mail message		8. Writing about your activities		9. Notes for a message board	
1. 英語と日本語の違いについて	10. Writing about your day																						
2. 英語の論理について	11. Writing a message on a card																						
3. パラグラフとは	12. Writing descriptions																						
4. Introducing yourself	13. Filling out an order form																						
5. Filling out a form	14. Writing about places																						
6. Writing about your family	15. まとめ																						
7. An E-mail message																							
8. Writing about your activities																							
9. Notes for a message board																							
評価方法	レポート（50%）及び出席(50%)																						
教材・教科書	Karen Blanchard, <i>Get Ready To Write</i>																						
留意点																							

共通専攻・共通関連科目

科目名	英作文 I B			担当教員	佐藤和博																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード	B53020																		
概要	〔キーワード： Writing your opinion 〕 様々なトピックについて、自分の主張を英語で書いてみる。																						
到達目標	複数のパラグラフで構成される英文を書けるようにする。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Addressing an envelope</td> <td>10. Informing patients of cancer</td> </tr> <tr> <td>2. Writing instructions</td> <td>11. Corporal punishment</td> </tr> <tr> <td>3. Writing a narrative</td> <td>12. Organ transplant</td> </tr> <tr> <td>4. Writing a biography</td> <td>13. Capital punishment</td> </tr> <tr> <td>5. Writing your autobiography</td> <td>14. Trade protectionism</td> </tr> <tr> <td>6. Writing your opinion</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. Writing a letter to the editor</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. Writing your opinion about smoking</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. Writing your opinion about uniform</td> <td></td> </tr> </table>					1. Addressing an envelope	10. Informing patients of cancer	2. Writing instructions	11. Corporal punishment	3. Writing a narrative	12. Organ transplant	4. Writing a biography	13. Capital punishment	5. Writing your autobiography	14. Trade protectionism	6. Writing your opinion	15. まとめ	7. Writing a letter to the editor		8. Writing your opinion about smoking		9. Writing your opinion about uniform	
1. Addressing an envelope	10. Informing patients of cancer																						
2. Writing instructions	11. Corporal punishment																						
3. Writing a narrative	12. Organ transplant																						
4. Writing a biography	13. Capital punishment																						
5. Writing your autobiography	14. Trade protectionism																						
6. Writing your opinion	15. まとめ																						
7. Writing a letter to the editor																							
8. Writing your opinion about smoking																							
9. Writing your opinion about uniform																							
評価方法	レポート（50%）及び出席(50%)																						
教材・教科書	Karen Blanchard, <i>Get Ready To Write</i>																						
留意点																							

共通専攻・共通関連科目

科目名	英作文IIA		担当教員	アルヴァル・ヒューゴソン
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード B53021
概要	[キーワード: English Writing] The first term will cover low-intermediate writing techniques which include the composition skills needed to be successful in and out of the classroom. The student will be able to write confidently about these areas.			
到達目標	English Writing 2 is a low-intermediate writing skills course. Emphasis will be placed upon reading and writing of a broad range of topics which are familiar to the student and at the same time introducing new and interesting subjects. This course is designed to increase one's reading and writing ability.			
授業の内容	1. Course Orientation and Teacher / Student Introduction 2. Getting to know you 3. The way we live 4. What happened next? 5. The marketplace 6. What do you want to do? 7. Places and things 8. Fame! 9. Dos and don'ts 10. Going places 11. Things that changed the world 12. What if...? 13. Trying your best 14. Final Writing Assignment 15. Writing Assignment Review and Course Conclusion			
評価方法	Attendance & Participation...50%; Writing Assignments (about 3 times)...50%			
教材・教科書	<i>American Headway</i> Level 2 Student Book w/ MultiROM (ISBN: 978-0-19-472964-2)			
留意点	Preparation before and review after classes are expected. We will also use online and MultiROM materials.			

共通専攻・共通関連科目

科目名	英作文IIB		担当教員	アルヴァル・ヒューゴソン
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード B53022
概要	[キーワード: English Writing] The second term will cover low-intermediate writing techniques which include the composition skills needed to be successful in and out of the classroom. The student will be able to write confidently about these areas.			
到達目標	English Writing 2 is a low-intermediate writing skills course. Emphasis will be placed upon reading and writing of a broad range of topics which are familiar to the student and at the same time introducing new and interesting subjects. This course is designed to increase one's reading and writing ability.			
授業の内容	1. Course Orientation 2. A world of difference 3. The work week 4. Good times, bad times 5. Getting it right 6. Our changing world 7. What matters to me 8. Passions and fashions 9. No fear! 10. It depends how you look at it 11. All things high tech 12. Seeing is believing 13. Telling it like it is 14. Final Writing Assignment 15. Writing Assignment Review and Course Conclusion			
評価方法	Attendance & Participation...50%; Writing Assignments (about 3 times)...50%			
教材・教科書	<i>American Headway</i> Level 3 Student Book w/ MultiROM (ISBN: 978-0-19-472983-3)			
留意点	Preparation before and review after classes are expected. We will also use online and MultiROM materials.			

共通専攻・共通関連科目

科目名	英作文ⅢA		担当教員	川浪亜弥子
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード B53023
概要	[キーワード: Academic Writing] Academic Writing (卒業論文などの Essay を書くこと)の技術を学ぶための授業です。Academic Writing における Paragraph の構成の仕方、Idea の絞り方、様々なスタイルの Essay を実践によって学びます。			
到達目標	Academic Writing 特有の規則や構成方法に基づきながら、自分の意見をしっかりと展開した Essay を書くことを目指します。			
授業の内容	1. Introduction: What is Academic Writing? 10. Writing: Introduction1 2. Prewriting: Preparation and Research 11. Writing: Introduction2 3. Topics 12. Writing: Introduction3 4. Sources 13. Writing: Introduction4 5. Taking Notes 14. Writing: Introduction5 6. Organizing Paper: Thesis Statement1 15. Review 7. Organizing Paper: Thesis Statement2 8. Organizing Paper: Outline1 9. Organizing Paper: Outline2			
評価方法	出席 30%・Writing Assignment (3 回程度)70%			
教材・教科書	Basic Steps to Writing Research Papers (Thomson)・配布プリント			
留意点	Writing は実践によってのみ習得できるものなので課題には積極的に取り組んでください。			

共通専攻・共通関連科目

科目名	英作文ⅢB		担当教員	川浪亜弥子
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード B53024
概要	[キーワード: Academic Writing] 前期に引き続き、Academic Writing の技術を、実際に Writing の訓練を重ねながら身につけます。			
到達目標	Academic Writing 特有の規則や構成方法に基づきながら、自分の意見をしっかりと展開した Essay を書くことを目指します。			
授業の内容	1. Introduction 9. Discussion & Writing: The Main Body8 2. Discussion & Writing: The Main Body1 10. Discussion & Writing: The Main Body 9 3. Discussion & Writing: The Main Body2 11. Discussion & Writing: The Main Body10 4. Discussion & Writing: The Main Body3 12. Conclusion & Bibliography1 5. Discussion & Writing: The Main Body4 13. Conclusion & Bibliography2 6. Discussion & Writing: The Main Body5 14. Conclusion & Bibliography3 7. Discussion & Writing: The Main Body6 15. Review 8. Discussion & Writing: The Main Body7			
評価方法	出席 20%・Writing Assignment (4 回程度)80%			
教材・教科書	Basic Steps to Writing Research Papers (Thomson)・配布プリント			
留意点	Writing は実践によってのみ習得できるものなので課題には積極的に取り組んでください。			

共通専攻・共通関連科目

科目名	日本語教育法 I A		担当教員	松岡 洋子																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期集中	科目コード B53025																		
概要	〔キーワード： 外国語・第二言語としての日本語 学習者 目的と整合性〕 外国語・第二言語として日本語とはなにか、ことばを学ぶ目的はなにか理解し、教育方法のための基礎知識を概観する。																					
到達目標	外国語・第二言語としての日本語の特徴について基礎的な知識を得るとともに、日本語を客観的に捉えることができる。また、教師の視点と役割を知る。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 言語を学ぶ意味、目的</td> <td>10. 外国語学習体験(学習者心理を知る)</td> </tr> <tr> <td>2. 日本語を学ぶということ</td> <td>11. 授業活動作成1(素案)</td> </tr> <tr> <td>3. 外国語・第二言語としての日本語分析1(文法)</td> <td>12. 授業活動作成2(改定)</td> </tr> <tr> <td>4. 外国語・第二言語としての日本語分析2(語彙)</td> <td>13. 授業体験</td> </tr> <tr> <td>5. 外国語・第二言語としての日本語分析3(運用)</td> <td>14. 授業のポイントの整理</td> </tr> <tr> <td>6. 学習項目分析</td> <td>15. 振り返り、まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 具体的な教授法1(教授法の種類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 具体的な教授法2(スキル別、レベル別)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 具体的な教授法3(授業のワザ)</td> <td></td> </tr> </table>				1. 言語を学ぶ意味、目的	10. 外国語学習体験(学習者心理を知る)	2. 日本語を学ぶということ	11. 授業活動作成1(素案)	3. 外国語・第二言語としての日本語分析1(文法)	12. 授業活動作成2(改定)	4. 外国語・第二言語としての日本語分析2(語彙)	13. 授業体験	5. 外国語・第二言語としての日本語分析3(運用)	14. 授業のポイントの整理	6. 学習項目分析	15. 振り返り、まとめ	7. 具体的な教授法1(教授法の種類)		8. 具体的な教授法2(スキル別、レベル別)		9. 具体的な教授法3(授業のワザ)	
1. 言語を学ぶ意味、目的	10. 外国語学習体験(学習者心理を知る)																					
2. 日本語を学ぶということ	11. 授業活動作成1(素案)																					
3. 外国語・第二言語としての日本語分析1(文法)	12. 授業活動作成2(改定)																					
4. 外国語・第二言語としての日本語分析2(語彙)	13. 授業体験																					
5. 外国語・第二言語としての日本語分析3(運用)	14. 授業のポイントの整理																					
6. 学習項目分析	15. 振り返り、まとめ																					
7. 具体的な教授法1(教授法の種類)																						
8. 具体的な教授法2(スキル別、レベル別)																						
9. 具体的な教授法3(授業のワザ)																						
評価方法	授業課題 30% 授業活動貢献度 20% 最終レポート 50%																					
教材・教科書	特に指定しない																					
留意点	講義だけでなく、討論、作業などを行う参加型授業です。学生同士で積極的に意見交換をし、協力して学習を進めてください。																					

共通専攻・共通関連科目

科目名	日本語教育法 I B		担当教員	松岡 洋子																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・後期集中	科目コード B53026																		
概要	〔キーワード： 体験 学習者の視点 教育効果 〕 前期の授業を踏まえ、実際に外国人に対する授業体験を交えながら、授業活動の効果を高める方法について学習者の視点から検討する。																					
到達目標	前期で体得した知識を活用し、教育に役立つ知識、技能を習得する。また、学習者自身が授業活動を通じて何を学ぶのか分析的に観察することができるようになる。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 教育法の知識の整理</td> <td>10. 授業活動の改定</td> </tr> <tr> <td>2. 学習者と到達目標</td> <td>11. 改定授業の試行</td> </tr> <tr> <td>3. 学習者の特性に合わせた教授活動</td> <td>12. 批評</td> </tr> <tr> <td>4. 学習目標と学習活動の整合性</td> <td>13. 教育知識の再整理</td> </tr> <tr> <td>5. 授業準備1(授業目標と学習項目)</td> <td>14. 教師の役割の再整理</td> </tr> <tr> <td>6. 授業準備2(教案・教材作成)</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 授業準備3(練習)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 授業体験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 授業体験の振り返り</td> <td></td> </tr> </table>				1. 教育法の知識の整理	10. 授業活動の改定	2. 学習者と到達目標	11. 改定授業の試行	3. 学習者の特性に合わせた教授活動	12. 批評	4. 学習目標と学習活動の整合性	13. 教育知識の再整理	5. 授業準備1(授業目標と学習項目)	14. 教師の役割の再整理	6. 授業準備2(教案・教材作成)	15. まとめ	7. 授業準備3(練習)		8. 授業体験		9. 授業体験の振り返り	
1. 教育法の知識の整理	10. 授業活動の改定																					
2. 学習者と到達目標	11. 改定授業の試行																					
3. 学習者の特性に合わせた教授活動	12. 批評																					
4. 学習目標と学習活動の整合性	13. 教育知識の再整理																					
5. 授業準備1(授業目標と学習項目)	14. 教師の役割の再整理																					
6. 授業準備2(教案・教材作成)	15. まとめ																					
7. 授業準備3(練習)																						
8. 授業体験																						
9. 授業体験の振り返り																						
評価方法	授業課題 30% 授業活動貢献度 20% 最終レポート 50%																					
教材・教科書	特に指定しない																					
留意点	原則として日本語教育法 I Aを履修してから、履修してください。実際に外国人に対する授業を行うので、積極的に参加してください。																					

共通専攻・共通関連科目

科目名	日本語教育法ⅡA		担当教員	新川以智子																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード B53027																		
概要	〔キーワード：日本語の構造、日本語の特徴、日本語文型の説明〕 まず日本語の構造を、外国語との比較を通して見た上で、日本語学習者を悩ませる日本語の特徴や類似文型を知り、どうすれば学習者に理解してもらえるのかを考える。																					
到達目標	後期の教材作成に備えて、日本語の構造の特徴を全体的にとらえられるようにする。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>10. 学習者を悩ませる日本語の特徴：語彙2</td> </tr> <tr> <td>2. 日本語の構造</td> <td>11. 日本語学習者参加活動</td> </tr> <tr> <td>3. 外国語の構造との比較1</td> <td>12. 日本語類似文型1</td> </tr> <tr> <td>4. 外国語の構造との比較2</td> <td>13. 日本語類似文型2</td> </tr> <tr> <td>5. 学習者を悩ませる日本語の特徴：音声1</td> <td>14. 日本語類似文型3</td> </tr> <tr> <td>6. 学習者を悩ませる日本語の特徴：音声2</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 学習者を悩ませる日本語の特徴：表記1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 学習者を悩ませる日本語の特徴：表記2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 学習者を悩ませる日本語の特徴：語彙1</td> <td></td> </tr> </table>				1. オリエンテーション	10. 学習者を悩ませる日本語の特徴：語彙2	2. 日本語の構造	11. 日本語学習者参加活動	3. 外国語の構造との比較1	12. 日本語類似文型1	4. 外国語の構造との比較2	13. 日本語類似文型2	5. 学習者を悩ませる日本語の特徴：音声1	14. 日本語類似文型3	6. 学習者を悩ませる日本語の特徴：音声2	15. まとめ	7. 学習者を悩ませる日本語の特徴：表記1		8. 学習者を悩ませる日本語の特徴：表記2		9. 学習者を悩ませる日本語の特徴：語彙1	
1. オリエンテーション	10. 学習者を悩ませる日本語の特徴：語彙2																					
2. 日本語の構造	11. 日本語学習者参加活動																					
3. 外国語の構造との比較1	12. 日本語類似文型1																					
4. 外国語の構造との比較2	13. 日本語類似文型2																					
5. 学習者を悩ませる日本語の特徴：音声1	14. 日本語類似文型3																					
6. 学習者を悩ませる日本語の特徴：音声2	15. まとめ																					
7. 学習者を悩ませる日本語の特徴：表記1																						
8. 学習者を悩ませる日本語の特徴：表記2																						
9. 学習者を悩ませる日本語の特徴：語彙1																						
評価方法	出席率・授業参加度（20%）、授業内で提示する課題の提出度（30%）、コース終了時の試験（50%）によって評価する。																					
教材・教科書	特に市販のものは使用しない。その都度、資料はプリントとして配布する。																					
留意点	受身ではなく、自分たちで問題を見つけ、話し合う学習活動であり、積極的な参加が望ましい。																					

共通専攻・共通関連科目

科目名	日本語教育法ⅡB		担当教員	新川以智子																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード B53028																		
概要	〔キーワード：日本語表記、語彙、会話、聴解、読解、作文、教材作成〕 日本語教育の方法の多面性を理解した上で、実際の教材分析、作成を通して、課題を見つける。																					
到達目標	日本語教育の方法として、自ら、様々な材料や方法を考え出し、教材を作成するための基礎能力を身に付ける。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 日本語能力試験1</td> <td>10. 日本語教材作成1</td> </tr> <tr> <td>2. 日本語能力試験2</td> <td>11. 日本語教材作成2</td> </tr> <tr> <td>3. 日本語語彙・表記教育1</td> <td>12. 日本語教材作成3</td> </tr> <tr> <td>4. 日本語語彙・表記教育2</td> <td>13. 日本語学習者参加活動</td> </tr> <tr> <td>5. 日本語会話教育・1</td> <td>14. 参加活動フィードバック</td> </tr> <tr> <td>6. 日本語会話教育・2</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 日本語聴解教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 日本語読解教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 日本語作文教育</td> <td></td> </tr> </table>				1. 日本語能力試験1	10. 日本語教材作成1	2. 日本語能力試験2	11. 日本語教材作成2	3. 日本語語彙・表記教育1	12. 日本語教材作成3	4. 日本語語彙・表記教育2	13. 日本語学習者参加活動	5. 日本語会話教育・1	14. 参加活動フィードバック	6. 日本語会話教育・2	15. まとめ	7. 日本語聴解教育		8. 日本語読解教育		9. 日本語作文教育	
1. 日本語能力試験1	10. 日本語教材作成1																					
2. 日本語能力試験2	11. 日本語教材作成2																					
3. 日本語語彙・表記教育1	12. 日本語教材作成3																					
4. 日本語語彙・表記教育2	13. 日本語学習者参加活動																					
5. 日本語会話教育・1	14. 参加活動フィードバック																					
6. 日本語会話教育・2	15. まとめ																					
7. 日本語聴解教育																						
8. 日本語読解教育																						
9. 日本語作文教育																						
評価方法	前期同様、出席率、授業の参加度、授業中に提示する課題の達成度、終了時の試験結果などにより、総合的に評価する。																					
教材・教科書	特に指定なし。その都度、必要な資料などをプリントとして配布する。																					
留意点	前期同様、自ら考え、生み出す授業スタイルであり、受け身ではなく、積極的な参加が望ましい。																					

